戰闘雜誌

前號發賣禁止

進め

大正十二年・八月號・八月一日

定價一部十錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

第一年第七號

日露の提携は對外政策の基調……山川均
來るなら來い済生(巻頭言)……
露西亞の政治組織……岡陽之助
國を擧げての叫び……四十余氏
農民運動の危機……稲村隆一
天候險惡(同人時評)……
日露提携の經濟的必要と無産階級……高橋龜吉
無産階級と國家權力……森岡淳吉
プロの眼……
耶蘇教迫害史を讀む……藤井國雄
監獄入門案内……福田狂二
無産青年の地位……沖辰男
鈴ケ森より……
國定教科書批評……横田忠夫

北原龍雄執筆

月刊・パンフレット 或る立場から

日本の無産階級は今經濟運動から政治運動に移らうとしてゐる。即ち運動の對象が資本家から國家權力に移り、運動の目的が物的利益の追求から支配的地位の獲得に移らうとしてゐる。併しながら、無産階級の政治運動に關する考察は、經濟運動のそれに反して、未だ始んど着手せられて居ない。我々の面前には澤山の問題が積み重ねられてゐる。之は何人かゞ或は何人もが解決を試みなければならぬ重要な問題である。政治運動の研究は、未だ定まつた型を伴つてゐない。それで、研究の方向や經路を勝手に定める事が出來る。請はゞ、研究の立場が自由である。

私も今一つの立場から此の仕事にかゝらうと思ふ。そうして考へ得たゞけを多くの人に提示し、批評や修正を乞はうと思ふ。その爲め此のパンフレットを發行する事とした。

月刊・第一冊八月發行・定價一部十錢 一年一圓・ 進め社取扱

坐談的講習會

五人か十人か、精々十五人位までの人が、誰かの家に集つて坐談會を開き、それを三日とか五日とか七日間とか續けて、一通り纏つた智識を修得する事の出來るやうに仕組む。それを假りに坐談的講習會と名づけた。思想を確實に研究する方法として、底力の籠つた運動の一つとして、此の企ては最も適當なものである。之に關する一切の相談相手を進め社が勤めやうと思ふ。

希望者は、大體以下の事項を書いて先づ申込んで下さい。一、研究せうと思ふ問題(例へば社會主義の一般論だとか、唯物史觀だとか言ふやうに)。二、程度(例へば、既に充分理論の大體を知つて居る人達がやるとか、全く始めての研究だとか言ふやうに)。三、集る人數。四、費せる日數。それに依つて進め社は、適當な人を選んで行つて貰ふ。大抵の場合行く人は一人でいゝと思ふ。一人が三日なり五日なり續けて、毎日二三時間づゝ順序よく話をする譯である。

費用は、先づ誰かの家に滯在さして貰ふ事にしたい。友達の氣分で本氣で一所に暮すやうな人を送る。往復の旅費はなるべくそつちで持つて貰ひたいけれど、都合では進め社が負擔してもいゝ。

此寫眞は米騷動の時、或る富豪を護る爲めに並んだ兵隊だそうである。富豪は資本家で兵隊は無産民だ。それだのに富豪と兵隊とはこんなに仲がいゝ。

大正十二年八月　戰闘・進め・雑誌　第一年第七號

來るなら來い、畜生！

過激法案が又蘇生するとの噂が傳へられてゐる。一方では、一切の社會主義運動に對して出來るだけの壓迫を加へる事に、政府の意思は新しく決定したとの話も聞える。是等の流言がどの點まで本統であるかは解らないが、社會主義運動の發展に對して、權力階級の陣營が今一度緊張し、反嚙的なる猛襲が何れ始まるであらう事は、純理から考へても見當は付く。そう言ふ見當が付かない程に、社會改造の運動と言ふものは、呑氣な生優しい仕事だと誰も考へて居ない。『過激法』か、『新取締方針』か、『國粹會』か、『軍事何とか會』か、その形式や名稱は何であるにせよ、狙はれる者に取つては大した相違はない。敵の陣營の中には、巡査や鐵砲や、一杯機嫌のゴロッキや、ガタンピシン音のする牢獄やドタンブーンと響くと言ふ絞首臺のある事位は、何も今更の話ではない。隨つて彼等が――公私兩面から見て――自分の損にならない限り、出來る限りそれを濫用する事も亦昔からの法則である。

併しながら、本統に運動する者の立場から言へば、壓迫の峻嚴は寧ろ望ましい事であらう。何となれば、社會を改造せんとの運動は、それに從ふ個人々々の單なる感情や道樂でやるのではなく、社會進化の前驅として、絶對に必然に生み出さるゝもので、恰かも、夜の終りに、東天の微光が現はるゝやうなものだから、壓迫に依つて運動は滅ぶものでないのみか、激越なる壓迫は激越なる運動を生み、峻酷なる取締は峻酷なる運動を喚び起さけなれば止まない。

ビラ一枚撒く者は打首にすると言へば、首を擦つて模造ファアスチストに走る者も多いであらう。その代り、今度出て來る奴は、ビラ一枚では承知しない事だけは確かである。一切の運動が死を以て向はるゝ事となつて見よ。一切の運動者に、雇ゴロの毒刄が向けられて見よ。その瞬間から、すべての運動が火華と鮮血との中でのみ行はるゝの他はない。戰線だとか、戰術だとか、鬪士だとか犧牲だとか言ふ用語が、比喩ではなくて本來の辭義通りに活躍して來るであらう。併しそれには、今の程度の壓迫や取締が實は少々邪魔になる。

社會主義運動は無産大衆の組織の運動である。棍棒だのダイナマイトだのとは、本來何の關係もないものだ。併し、本統の運動が巧妙な生温い迫害で、最も具合よく妨げられて行くと言ふ事は一番不愉快で一番有害である。運動の速度は壓迫と抗爭との熱度に比例する筈だ。幸にして役人の方に度胸があれば、お互に太く短く行つた方がサッパリするではないか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

天候險惡

（同人 時評）

一 無線外交と病床外交

勞農露西亞の權力が統一せられた當時、革命は内に向つても外に向つても高速度の進行を續けた。國内では資本主義生産を打ち壞して、地主資本家の遊民を乞食の群の中へ追ひ込んで行くと共に、國際的には債務や條約を片つ端から踩み躪つて、大はロイドヂヨウジより小はエルメンニに至るまでの、歐洲ブルヂヨア政治家を慄え上らした。その時の外務大臣はチチエリンであつた。

當時、日本の布施氏であつたと思ふが、此のチチエリンの國際的革命行動を無線外交と呼んだ。それは無線電信に依つてすべての通告や論爭が行はれるからであつたが、既往一切の慣習や規範を、全然無視してかゝつて行く所に、如何にも無線電信に似た飛躍と突破とが見られて此の名稱は相應はしいものであつた。

チチエリンの論爭は、無線の力の最も絶大な夜間に行はれたそうだ。あの神經質に引き締つた顔を少しうつ向けて、ポツリ／＼と口授する文書が、タイピストの手から技手に移り、チヂチヂと言ふ輕いリズムになつてポールの上から放たれる。そこから、全歐洲の渦巻きが起される。此の、所謂無線外交の情景を考へると、今でも涼しいやうな痛快味を覺える。

すると今度は、ヨッフエが病床外交と言ふ用語を作らせた。誰かも言つた如く、彼が半死の病軀を擔架に載せて敵國の眞ん中へ運び込ませた勇氣、日本ではハシタ役人さへ避暑したがる盛夏を、病に喘ぎ々々強情を張つて行く覇氣、そこには一種の英雄味が見せ付けられてゐる。

二

併し、こゝで我々に取つて、チチエリンやヨッフエに個人的讃美を呈する事よりも、もつと大切な仕事は、無線外交や病床外交の痛快なエピソードに依つて、無産階級の政治的威力を認識しなければならぬ事だ。

チチエリンやヨッフエの見事なる武者振りは、たゞ露西亞だけの事と見てはならぬ。彼等は地域的に露西亞を代表してゐるが、同時に階級的にはプロレタリアを代表してゐる。彼等の背後にある者は、露西亞の人民だけでなく、實に全世界のプロレタリアである。

彼等の無線的な飛躍も、仰臥したやうな底力も、此の廣大無邊の背景があればこそ、思ひ切つてやれもするし、やつて成効もする。人間の行動は、腹の底の信念に比例して勇敢になり、剛健になる。全世界のプロレタリアを代表するとの信念ほど、此の世に偉大なものは無いであらう。チチエリンやヨッフエほど、偉大な信念を抱いて國際會議の椅子に腰を下した者は、世界史に先例が無いであらう。

三

それに比べて、資本主義國の外交の慘めさよ。敢て日本の事を言ふのではないが、すべての資本主義國外交の背景をなす者は、たゞ白國の資本家だけである。國家の名に依つて行はるゝ要求が、實は株主の配當と銀行家の投資先きとを擴大する要求に他ならぬ。たゞ彼等の手に權力が握られて居ればこそ、如何に國民全體の情意に矛盾した要求も、國内の物理力的反對は受けずして行はるゝとは言へ、彼等の敵は會議質の向側だけではない。さぞかし、心細い事であらう。

支那の李鴻章にやりたいものは、豚の腹割く出及庖丁——。之は三十年前の日本の大衆が敵國使臣を迎えて合唱した歌だ。今、階級意識に眼を覺ました日本の無産大衆は、自國の代表や自國の外務大臣等の名前さえ知らない者だらけだのに、敵國の病床代表は、ヨッフエ／＼で大持てゞある。その持て方は、ブルヂヨアの女房や娘までが引き込まれて帝劇用の衣裳で低能なツラを着飾つた、歡迎會まで開いた程である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四

げに、無線外交と病床外交、そこに世界の回轉が語られて居る。そこに無産階級の仕事と威力とが示されてゐる。（北原）

二つの軍隊出動

一

前橋の裁判所が水平社に襲はれた。水平社の名を聞くと、身の毛もヨダたす俗吏どもは、早速高崎聯隊に出兵の申請をした。軍隊の方では無論承知した。（こゝで誤解されては困るが、出兵の申請は兵卒に宛てゝ直接やつたのではない。故に出兵を承知したのは、何れ師團長か何かであつて、兵隊自身ではない）

尤もこの出兵はやらずに濟んだが、刑法に謂ふ所の豫備行爲若しくは未遂位の出兵行爲は成立したに違ひない。幸に既遂まで行かなかつたので、無産階級同胞が兵隊服を着せられた群と、ミノを着た群とに分れて闘はされる慘劇は免れた。

然るに、その後一週間を過ぎた七月十日、廣島縣の洪水で、四千數百戶の家屋が浸水し、危險が刻々迫つて來るや、廣島師團の工兵、騎兵、砲兵、電信の各隊から出動して警戒に當つた。

二

等しく、軍隊の出動ではあるが、前と後との間には如何に甚しき差の含まるゝ事だろう。前の塲合に、戰闘の相手が同じ無産の同胞だつたが、後の塲合には、洪水と言ふ自然の脅威であつた。軍隊は、同胞を斃たんが爲めにも動かされ、同胞を護るが爲めにも動かされる。

二つの出兵を並べて、等しく法規の濫用であり、等しく治安の支持の爲めであるなど、形式的なる解釋は、社會が階級化する前の時代、若しくは階級意識が大衆の情意の中に滲透する前の時代にのみ妥當である。國家の階級化や、權力の階級闘爭への介在やが、既に大衆の社會觀のカテゴリーとなつた時代に於て、此の二つの出兵の、意義の上の差別を塗りつぶす事は絕體に不可能である。

要するに、軍隊の行動には、大衆と闘ふ塲合と、大衆の敵——洪水の如き——と闘ふ塲合との二つの種類がある事は確かである。

三

此の二つの出兵に依つて、反軍國主義と反軍隊とを混同してはならぬ事が暗示せられる。反軍國主義は軍隊を使用する原理の一つに對する抗議であるが、反軍隊は軍隊の存在その事に對する反對である。洪水——或は暴風、傳染病、ゴロツキ團、金持の飼犬、貴族の傭兵等——に對して、大衆を擁護せる意味の軍隊に對して、何人も感謝と期待とを以つて迎へる事であらう事は言ふまでもない。隨つて、軍隊の存在その事に對する反對は理由がない。併しながら、此の軍隊が、少數の特權階級の擁護の爲めに、直接或は間接に、積極的に或は消極的に使用せらるゝ事が、軍隊の運用の一原理となる時、所謂軍國主義は成立するのである。無産大衆がそれに對抗すべきは當然である。こゝに反軍國主義の思想は生れ出づる。

反軍國主義の爲めに、軍隊の存在その事に反對してはならぬ。その誤謬は、水平社に對して行はんとした出兵に對する抗議の爲め、洪水に際する出兵も肯定しないに等しい誤謬である（北原）

榮辱の分水嶺

一

正しく日本の資本主義は爛熟の高調に達した。而して當然の運命なる生産過剩の苦痛より脫する方法があれば、毒でも敢て辭すまじき窮狀に在る。その救策として、露西亞より利權を獲得し、通商を開始することに依つて、僅かに一息つかうといふ懸命の塲合である。

それが政府による此度の日露交涉となつて現はれた。されば、政府の態度精神は、徹頭徹尾利權の獲得に終始し、そこには、勞農露西亞の歷史的使命に對する理解の如きを、毛ほども見出すことの出來ぬは勿論である。

二

此の交涉の難關は、尼港事件とされてゐる。日本政府は、尼港事件の全責任を、露西亞にな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すりつけ、膏藥代をよこせと強硬に迫つてゐる。まるで、手を膝に、行儀よく坐つてゐる者を相手が撲りつけたかの樣な談判振りである。黒く長い手を盛んに活躍させた事は忘れてゐる。そして『日本は決して露國に對して惡意を懐いて出兵したのではなく、好意的態度を以て終始して來た』と陳べて恥ぢない。が、全くウソの皮である。

第一、無産階級の搾取以外にプルジョア國の面目は有り得ない。そのブルジョア國家にとつて、搾取なき勞農國家の實現が恐怖と威嚇でなくて何であるか。それを、今に至つて『好意的態度を以つて終始した』とは餓狼としては、羊皮の被り方が餘りに露骨すぎる。

三

日本のシベリヤ出兵の目的は革命の防害と利權の伸張にあつた。これは、他のブルジョア國と共に、日本も曲げ難い事實である。

而も若し、政府の言の如く、露西亞革命に『好意』を有してゐた！とするならば、それこそドサクサ紛れに一仕事しやうとする火事ドロの『好意』である。而して、尼港事件は正にその時の火傷でなければならぬ。

然るに、日本政府は、火傷と火事場かせぎとは『引離すべき問題だ』先づ、膏藥代を貰はうと、内心ビクつきながら尻をまくつてゐる。

四

尼港事件の責任をなすり合ふ前に、私等はその被害者の何人かを明かにしてかからねばならぬ。被害者は實に、無産階級であつた。とすれば、尼港事件の代償を要求する權利を有する者は、無産階級自身の外には無い筈である。私等は改めて斷定しやう。事件の責任者は日本のブルジョア政府自身である。

而して日本の無産階級と、露西亞無産階級國家とは共通の使命を有し日露同盟を切望してゐる。然るに何の厚顔無恥ぞ。尼港事件の當の責任者が、代償を得んとあせつてゐる。

五

頑迷保守の政府が、露西亞を相手に交渉を開始した事は、兎も角日本の一進歩を意味する。併し此際迄は歴史の力である。これを假りにも我々無産階級の力等と己惚れることは出來ない。歴史の力を味方に有つ事は確かに、私等の强味ではある。けれども個々の時局面を決定する力は我々の運動自體になければならぬ。

曾て、我々無産階級同胞は、シベリヤへ出兵して、無産階級革命を防害した。此の事實は、日本無産階級の恥辱であることを免れない。少くとも此の爲めに何程の反對運動も起らなかつたといふ事は、確かに日本無産階級の恥辱でなければならぬ。

日露問題が眼前に横つてゐる今日、之を全然政府に托して無産階級は傍觀し、曾ての恥辱を再び繰返すか。進んで『日露同盟』を掲げて、斷行の大運動を捲き起すか。日本の無産階級は今榮辱の分水嶺に立つ。（岡）

八方塞がりの日本

一

遠攻近交と云ふことが上代支那策士の理想であつた。が事實は常に逆の現象を示して來た。

資本主義が必然、浸略の形ちをとつて國外に現はれる運命を有つ以上、近交よりも近攻となるのは當然の事である。

近頃新聞の報ずる所に依ればまた支那に排日運動が起つた樣である。

而も此度の運動には多數の學生團が動いてゐる所からみても、その動因の一つが、直接經濟關係に基づかざる特殊の反感に出でてゐることは見逃せぬ事であるが、主なる原因はやはり日本の經濟的浸略に對する自衛であると見るべきであらう。

二

最近支那の工業は目覺しい發達を遂げ、優秀なる品物がドシ〳〵生産され、日本品は、市場からボイコットされる勢である。支那の今日は、全く日本品輸入の必要を感じなくなり、更に經濟的利害から、徹底的に之を排斥しやうとするのである。

從つてこの排日運動は、發作的政治的の暴動と解すべきではなく、寧ろ支那の資本主義の發

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

遂に伴ふ必然の現象として考へ得られる。

三

日露通商に依つて僅かに血路を開かうとする日本の産業は、こゝに復たも、難關に出くわしたワケである。これらは要するに、日本の資本主義の遺憾なく發達し切つた證據である。

最早世界中どこにも、日本の膨脹を許容する空地はない。八方塞がりである。日本ばかりでなく、世界的に行詰つたのである。殖民政策は昔の夢である。從つて、排日に對する對策は、ブルジョア政府には絶對にない。あればそのものの破滅の一途があるのみだ。

ブルジョアの行詰りと共に、無産階級の生活は下り坂に向ふのである。殖民が盛んに行はれ資本主義が未だ發展の餘地のあつた昔は、勞働者はそのオコボレを要求することによつて、幾分にても生活向上の望みがあつた。けれども、資本主義そのものの運轉が不可能になつた今日では、勞働階級の生活向上には全く望みがない。而てそのし運動の性質は、改善要求の運動ではなくて、現状より下に落下しまいとする運動である。これは明かに、經濟運動の絶望を意味するものである。そして絶望から、より深刻なる政治運動が生起せねばならぬ。（岡）

瀧壷へ進むボート

一

秦の始皇といふ男が、長城を築いたり、思想家を殺したりしたが、二代で亡びた事は有名な話である。どこの支配階級も、推移に無智なために往々バカなことをやり出す。

最近の新聞に依ると、内務省は例の『共産黨陰謀事件』にすつかり怖氣が出て、この機會に『赤化思想の根絶を期すべく、先づその準備の第一步』にとて、全國の『危險分子』の詳細な身元調べを、大々的に斷行するんだ相な。

二

けだし彼等は、これを以つて『主義者』に威嚇を示すつもりか知らぬが『赤化思想』は道樂ではない。不當な壓迫に反抗して生れたものだ。それを壓迫に依つて『根絶』し得ると考へる邊りが、支配階級の低能振りといふのだ。

壓迫に依つて根絶の出來るものは、只、表面にうわついた運動だけである。そして運動の本流は反つて益々社會の底へ潜り擴がり、深化し、結局、彼等は期待とは似てもつかぬ大變な結果を握らされる事となるだけの事である。

三

ナイヤガラ瀑布に近づきつゝあるボートの人々は、瀧壷の中へ捲き込まれる瞬間までそんな悲慘な運命は夢にも悟らず、大陽氣に浮かれてゐると云ふ話をどこかで聞いた。

無産大衆の流れは刻々と××の瀧壷へ向つて流れてゐる。今ボートの連中は、そんな事とは氣が附かず、『赤化思想の根絶』などと己惚れ口を叩きあつてゐる。（岡）

〰〰〰〰〰〰〰

紅塵萬丈

○

上野の象を鐵鎖より解放せよと云ふ運動が起つた。そして勞働者解放の運動には迫害の度がいよ〳〵猛烈になつて行く。

○

警視廳の赤池某、近頃の新聞が社會主義者に氏だの君だのを附けるのがケシからんと云つて憤慨した。資本主義御衛には最も高價な猛犬だ。

○

政府は國際勞働會議への代表選出を、勞働組合から反對された。政府へ一言する。君等で勝手に代表を作つたらどうだ。但し、勞働代表の肩書を用ふることは斷じて許さず。

○

治警十七條の撤廢も可。過激法案の再出もよし。たゞ我等は進む。妨害すれば蹴散らして進む。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日露同盟の提唱

我等は日本の無産階級の見地より、日本と勞農露西亞との同盟を提唱する。之を特に無産階級の名を以つて主張するは、世界革命の推轉を促進すべき此の大事業は、無産階級の歴史的使命に屬するものであると共に、ブルヂョア政治家の高利貸的經綸や、吏僚政治家の遊戯的政策の想到する能はざる高級題目だからである。

勞農露西亞は、露西亞人の國家であると共に、亦世界無産階級の國家である。露西亞との結合は、世界無産階級との結合を意味する。露西亞を扶くるは、世界無産階級の行進を扶くるものである。幣文化諸國貨が、革命露西亞に對して火事場泥棒を稼ぎ損じたる醜態を見よ。日本は今此の醜態の模倣より覺醒すべき時である。

明治維新以後の日本は、資本主義精神に導かれた。それが爲には、一切を資本主義國に追從した。かくて素町人根性と、貨幣計算とが立國の根本方針となつて了つた。資本主義文明は、今や行程の終局に達し、必然解滅すべき時に臨んでゐる。行詰まれる現日本の諸情勢も、實はその反映に他ならぬ。資本主義の永劫性を信ずる錯誤は、封建主義の永劫性を信ずる錯誤に異ならぬ。明治初年に於て徳川幕府と封建制度との存續を計らんとした私心と無智、黑船を恐れて品川にお臺場を築いた蠢愚と無稽は、現在の日本に於ても斷じて許すべきでない。將來の日本を托すべき新精神の伴侶として、我等は實に勞農露西亞を頼みとする。此の意味に於ても亦、我等は日露同盟を提唱する。

一切の不合理が跡を絕ち、眞實の人間生活が營まれつゝある勞農露西亞、眞理を愛する事が人間の至情である限り、我等がかゝる國家を愛するは當然であらう。單なる感情の發露としても、我等は日露同盟を主張したいのである。

更に兩國の當面せる政策的必要よりも、同盟の斷行は急がなければならぬ。

歐米諸國を牽制し得べき國際上の利益、工業生産品を獲得すべき經濟上の利益等、露西亞側の必要は暫く措き、日本に取つて此の同盟は、原料の獨立なき産業上の不安、歐米資本主義諸國の挾擊に陷らんとする外交上の不安、地理的背景を有せざる國防上の不安、人心の險惡日に熱度を加へ來る社會上の不安等、日本をして世紀末的行詰りに陷らしめんとして居る是等の諸難關を突破すべき唯一つの活路である。

鬪はんと欲する時には、先づ砲門を開かねばならぬ如く、結ばんと欲する場合には、先づ握手が急務である。我等無産階級が、眞情に燃ゆる手を差し延ぶるならば、何者がそれを防げ得るものぞ、一切の障害は即時空間に消滅するであらう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日露の提携は對外政策の基調

山川均

日露は何故に提携しなければならぬか。これは無産階級の立場から見れば明白である。

然しながら日本は無産階級の國ではない。無産階級の利害と希望と意志とは、必ずしも日本の對外政策を決定せぬ。否な殆んどすべての場合に、日本の對外政策は、無産階級の利害と希望と意志とに反して決定せられて居る。

ところが日本には暫らく純粋な無産階級の立場を離れても、なほ露西亞と提携すべき理由がある。

歐洲大戰後に於ける國際政局の最も著しい事實は、一國の内部に搾取階級と被搾取階級との對立が甚しくなるように、國際的には、搾取國と被搾取國との對立が著しく明白になつたことである。大戰後の國際政局の動搖は、主としてこの對立のためである。

大戰前にも、搾取國と被搾取國との對立がなかつた譯ではない。けれども國際均勢の破裂とは、主として搾取國と搾取國との間の搾取の勢力の均衡が破れることを意味してゐた。

戰爭後の著しい事實は、被搾取國の擡頭である。五ケ年間の戰爭で、國際資本主義の統制力が弛緩したところへもつて來て戰爭の爲めに傷ついた手負ひ猪の列國は、自國の資本主義國を復興する唯一の道として、國際的の搾取に突進した。この二つの理由の外に、被搾取國の擡頭した第三の理由がある。即ち露西亞革命によりて、國際資本主義の外に立つ一つの新しい國際的勢力が起つたことである。

搾取國と被搾取國との對立―これが戰後に於ける國際政局の基調である。搾取國たる聯合國が寄つてたかつて、一土耳古を持て餘まして居るのは、國際資本主義の統制力が衰へて、被搾取國が擡頭した何よりの證據である。

アングロサキソンの資本に代表せられる搾取國同盟か、それとも露西亞を盟主とする被搾取國同盟か。戰後の國際的均衡は、この二つの勢力の消長にかゝつて居る。そして日本はこの何づれかに加擔しなければならぬ。世界が何十分の一にも狹くなつた今日は、最早や『光榮ある孤立』はない。

日本の經濟上の利害は英米の資本と一致して居るか、それとも被搾取國の利害と一致して居るか。問はずして明かである。最近のロンドン電報は、英國のシンガポール海軍根據地は『米國に對する戰爭準備と考へるものはないだらう、然したとひ遠い將來のことかも知らぬが、日本と戰爭する可能性のあることは認めるであらう……その際には、米國もまた英國側に立つに至る……』といふグレー卿の演說を傳へて居る。英國と日本とが戰爭をやるかどうかは別問題である。たゞ戰爭の可能性があるといふことは、經濟的利害が對立してゐるといふことを意味して居る。

日本の政治家は好んで『日支の親善』を口にする。そして其の口の下から排日運動をやられて居る。これは如何にも皮肉のようで、實は皮肉でない。日本が搾取國の側に立つか、それとも被搾取國の側に立つかといふかんじんの態度をきめないで、搾取國たる支那と親善しようといふのが皮肉である。

アングロサキソンの資本の心中の道連れとなるか、それとも被搾取國の盟主たる露國と提携して、アングロサキソンの資本の支配に對抗するか。日本の對外政策の基調はこの一點にある

通商運動から同盟運動へ

日露同盟と云つたゞけでは、淡然として居るが日本のブルジョア階級の進んだ一部に於いては、國際政局の孤立から脫却し、行き詰つた財界をロシアの領土に打開せんが爲め、此の問題は既に眞面目に考慮されてゐる。

我等無産階級は、か〻る情勢を見逃してはならない。通商運動に點火した我等は、當然同盟に向つて此の情勢を開展しなければならないと存じます。

（鈴木茂三郎）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日露提携の經濟的必要と我が無產階級の立場

高橋龜吉

已に日露同盟と謂ふからには現在の資本主義的日本を足場としての問題である。未來の社會主義的日本を基礎として考へることは無意味であるからだ。自然、私の日露同盟觀は、日本の現在の資本主義的地位を利用せねばならない境遇にある、我が無產階級としての立場から出發する。若し夫れ資本主義其のものゝ必要から全く獨立して、社會主義的無產階級單獨の立場より、日露の提携を必要とする理由については、自ら異つた立場から觀らるべきである。

碎いて謂へば、日本の資本主義と勞農露國との同盟を、日本の立場から、何故に必要とするかが今日の問題である。日本の社會主義と勞農露國との同盟が何故に無產階級に必要であるかを、今茲に問題とするには及ばないからだ。

我が資本家の立場から、日露同盟を必要とする事情は、我が資本主義そのものが、已に、地理的に行詰り、何等かの手段を以て、海外發展の足場を得ねばならない位地にあるからである。元來、日本の資本主義は、之れ迄、其の帝國主義的發展の方法として、英國と結び、之れが東洋侵略の番犬となることに由つて、滿鮮と謂ふ猫額大の殘肴を與へられた。日露戰役に於ける、我が資本主義經濟の發展は、大に、此の領土の擴張に由つて刺戟されたものである。併しながら、歐洲戰爭は、英國の勢力を大に失墜せしめ、世界勢力の中心を米國に奪はれるに至つた。宛も此時、米國の經濟的進步は躍進して、工業的大輸出國となり、帝國主義的發展の必要を痛感し來つた。已に、世界到る處は、先進資本主義國の繩張りの內にある。此に於て、米國は先づ、此の繩張りを鎖の最も弱い點から破らんとする政策を採つた。其の槍玉に擧つたのが、支那、トルコ、ペルシャ等の半植民地國に於ける、所謂、勢力範圍である。米國にとつては、此の政策の遂行上、東洋に於ては、日英同盟が最も邪魔ものである。又英國にとつても、帝政露國倒れたる後日本の番犬を必要とする度合は非常に減じた。そこで、歐洲戰後、米國の强要をキッカケに、日英同盟は終りを告げた。

虎威をかつてゐた狐が、虎から見放された樣に、英國から見放された、日本の帝國主義は、こと〴〵に馬鹿にされ出した。歐洲戰後に於ける、所謂、日本外交の退嬰屈辱は其の結果である。併しながら、此日本の帝國主義の行詰りは、單なる外交の行詰りでは納まらない。其の奧の院の資本主義樣が、海外發展の行詰りから、四苦八苦の死目に會するに至つた。今日に於ける我が經濟界行詰の尠からぬ部分は、此の反映である。

のみならず、今後、何處迄、此の我が帝國主義の退嬰が押寄せて來るか分らない。山東から滿洲、朝鮮と、已に、大きな惡夢が襲ひつゝある。溺るゝものは藁をも摑む。我が資本主義は、此の孤立の陰慘な惡夢からのがれんとして、異なる理由から同じ境遇にある露國に目をつけた。露國と握手して英米の東洋侵略に對抗しようと謂ふのだ。其の裏面に於て、日本の資本主義に、發展の自由天地を確保しようとするのだ。露國も、英米の帝國主義を東洋から驅逐すること迄は利害は一致する。結局それは、英米本國に於ける資本主義を行詰らし、革命を促進する最も手近の方法であるからである。後藤氏一派の日露提携論は、此の日本外交行詰りの展開策としてである。無論、利權漁りの一部資本家や、一攫千金を夢想する商人どもの我利々々の連もあらうが、それは、目先の慾にのみ目の眩んでゐる少數實業家の考へで、資本主義の最高執行官たる、我が聰明なる大政治家連の考へてゐる高等政策の基調ではない。事實又、今、日露の通商が開かれた處が、直

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ちに、我が經濟がどれだけ繁榮するか否かは、英國の例から見ても頗る疑問である。無産階級も亦、日露の通商、同盟に由つて、直ちに、我が産業が活氣づき、失業が緩和せられ、賃銀が高くなると謂ふが如きケチな考へは餘りしないがよい。無論、多少はそうした景物もつくであらう。が、此際、最も我が無産階級の注意せねばならない點は日本の資本主義が、若し露國と提携し得なんだ塲合には、無論日本の資本主義は四苦八苦するが――而して資本主義の組織内に生活する限り、其のとばしりを無産階級が一番ヒドく受けねばならないが――併しながら、それが直ちに、我が資本主義を最後に導けば未だ慰められもしようが、事實は、却つて我が無産階級に對する大敵を誘ひ來る危險の多いことである。

元來、日本の資本主義が、今日の帝國主義的行詰を脱する途は、今一つある。それは、米國の資本主義と握手して東洋から英國の帝國主義を驅逐し、支那印度、其他を各國資本主義國の「自由競爭」地帶とすることである。今の處、日本は米國から踏んだり蹴られたりの形であるが實は、米國の理想は、單に、日本排斥に非ず、より大なる競爭者たる英國の排斥に在る。英國を支那から、印度から、其他の東洋地方から驅逐しない限り、米國の東洋發展は高の知れたものだ。で、早晩、必ずや、東洋に於て英米の利害が露骨に相反する時代が來る。此時に於ては日本の利益は米國と一致して、印度其他の門戶を開放せしめ、機會均等を叫ぶことに在る。若しもそうなれば、成程、始めこそ、日本の無産階級は利益するが、結局は、東洋全體が、米國資本家に搾取され、日本無産階級を始め、東洋全體の無産階級は、永く米國の資本主義の鐵鎖に苦しまざるを得なくなる。米國の資本主義を倒すことは、英國のそれよりも尙ほ數倍困難であるからである。

日本の資本家も亦いよ〳〵困つて來ると、背に腹は代られないで、自己の存立を維持するためには、我が無産階級を、米國の資本家に賣ることを少しも躊躇するものではない。

で、日本の資本主義が、尙ほ相當永く續くものと考へ、而して其の間には、自ら必要の自己の存立手段を採るものと考ふる限り、我が資本主義をして、先づ勞農露國と握手せしめねばならない。露國との同盟は、初め如何なる妥協が必要であるにせよ、結局は、一歩〳〵、無産階級の勝利に進むものに外ならない。しかも、それと共に、我が資本主義が、無産階級のより强敵たる米國資本主義と握手することを防ぎ、且つ、間接に、無産階級の味方たる勞農露國の發展を援け、延いては、世界的資本主義の破滅を促進し得るのである。

二つの階級性

ブルジョアジーは軍國主義的獨裁の如く血に塗れた典型的の獨裁振りを發揮した時と雖も、猶『全民衆の利益』などと云々してゐる。かくの如く資本家階級の人々は所謂民主的共和政體といつたやうなもので特に巧妙に欺いてゐる。勞働者は三年に一度位は議員の投票權を與へられてはゐるが、然も行政には一切關與することが出來ない。それでも猶普通選擧を施行してゐるからといふ理由の下で、資本家階級は聲高に『全民衆』の支配であると宣言する。

ところが一方ソヴイエット權力では、公然とその階級性を明らかにしてゐる。そしてそれが階級的權力だといふことを隱したり、ソヴイエット國家が勞働者の獨裁だのつてことを隱蔽したりなどはしない。それどころかその名を特に力を入れて叫ぶ。即ちロシア社會主義聯邦ソヴイエット共和國の基礎的法律と云はれてゐる憲法にそれがよく宣言されてゐる。それ故にソヴイエット權力は、その階級性を聲明するのみならず、一歩進んでプロレタリアに敵對する階級を權力機關から放逐して其選擧權を奪ふに躊躇しない。即ちソヴイエット權力が勞働階級のみの陣營から生れたものだといふことを隱し立てしたりする塲合がない。それどころか、積極的にその素性や眞意を飽くまで固持して動かない。敵を封ずるが爲に自身と團體との結合をなし、そして搾取者に對しての爭鬪で成功せんとするのである。

勿論こんな狀態は永久に續くのではない。やがて搾取者が復活の氣力をなくして、働くやうに訓練されれば、プロレタリアートの獨裁は不必要になり、自然消滅する。故に我々の課業とするところはブルジョアのペテンを發きプロレタリアートの組織の下であらゆる手段によつて搾取者を壞滅することである。

かくしてプロレタリアートの國家といふものも漸時に死滅して行くであらう。そして階級の分裂が完全に消滅した國家なき理想社會にまで變化して行くであらう。(ブハーリン)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

國を擧げての叫び

―日露同盟の提唱に對する批評―

我々は日露同盟を結ぶ事が兩國の爲め極めて有意義の事だと信じます。

行き詰まらんとせる日本の諸情勢は、之に依つて展開の途が見出さるべく、革命後の苦闘裡にある露西亞は、之に依つて多大の力を得る事となろうと思ひます。

又單なる愛國心から言つても、世界唯一つの無產階級國家を、英米の資本主義國が泥棒の手付きと高利貸の心とを以て圍繞しつゝある時、率先して手を差し出すだけの聰明と眞實とを日本の無產階級が有した事を後世の世界史に誇りたいのであります。

見解を求めた葉書

□ 福田德三氏

全然贊成。要領を得た事、貴はがきの如きは近來稀なり。この調子で『進め』と御答へします。

□ 前田河廣一郎氏

國際的締結が二つの民衆の握手を實現する事に於てのみヨッフエとの交渉の意義が生ずるのである。それが正反對乃至は盲性的な利害のみを服用した同盟ならば我々にはちつとも難有くはない。民衆自體のインタナショナリズムは日に日に生長しつゝあり。豈官府のみの力を借らんや。

□ 藤井眞澄氏

日獨露支印土の同盟を結んで英米佛等の所謂ブルジョア聯合國をやつけるやうなそんな偉大な政治家は今この日本にはゐないのであろか？西郷隆盛でも新しく蘇生したらこの事をやれろに違ひない。若き日本青年諸君よ！お互にもつと膽つ玉を大くしやうぢやないか。

□ 大阪銀兵衛氏

日露同盟に就いては勿論大贊成です。排斥され通しの日本は是に依つて一道の光明を得る。又ロシアは世界の資本主義の共同戰線を少しでも切崩せる事を喜ぶに違ひない。

無產者國家の完成を一日も早からしむる事は吾人の運動にそれだけの力を得らるゝ事になる。歴史は必然的に社會主義の社會を實現する事を確信する我々はロシアと同盟する迄の第一人者であるべく努力せねばならない。

□ 鈴木正吾氏

御趣意には大贊成です。日露同盟の提唱をきいて私が感じた氣持を卒直に申上げると日露兩國間は今の處同盟するには餘りに根本的な思想上制度上乃至社會上の隔たりがあり過ぎて實際問題としてよりも寧ろ深刻な皮肉な國内改造の要求かと思はれます。日露同盟は所詮日本のプロレタリアが政治上の覇權を把握した後の問題でせう。私は一日も早くその日の來る事を望み、その日を來らせなければならぬと考へて努めて居ります何ぞ啻に革命ロシアとの同盟のみを言はん革命ドイツ革命支那革命印度――と同盟して一切の不合理なる國際的社會的國家的の特權階級を驅逐したいものです

□ 鈴木文治氏

御所信に對し贊同致します。日露の關係は單に承認のみではなく是非同盟と迄進む事が兩國兩民族の將來のためと信じます。殊に英米資本主義の本潮は益々露骨ならんとするの時これに拮抗するには日露同盟以外の力に望む事は出來ないと思ひます。

□ 坂口義治氏

御提示の日露兩國の同盟は誠に結構な事であります。兩國同盟が一日も早く成立する事を希望すると共に我々がこれの達成の爲に出來るだけの努力を惜んではならぬと存じます。

□ 野口一雄氏

日露兩國が此際列國に卒先して同盟を結ぶ事は極めて必要である。日露同盟はその建設の困苦の中にある勞動階級獨裁下の露西亞に取つても刻下の急要なる事であろう。また日本も、英米の資本主義に脅威されつゝある現在に於て、反資本主義の國是たる露國と握手する事は又日本民族の世界的孤立の危地を救ふ唯一の方法であると言つてもよい程の重大なるものであると思ふ。

□ 川合義虎氏

日本無產階級の態度としては日露同盟に極力贊成しそのために運動を捲き起さねばならぬと思ひます。然し日本の現在の政治家連中のケツの穴の小さな態度では結局それが不成功に終る事は目に見えてゐます。只日本の無產階級の意志を歐米の資本家國家に示し日本のブルジョアジーに迫る事は有効な事と思ふ。それは勞農ロシアのせめてもの喜びと歐米のブルジョアジーの驚愕と日本ブルジョアジーの政權の動搖を來して無產階級に新しき希望を見出すのそれである。けれども日本のケチな政治家によつては不可能な事は明白である。それを日本の無產階級大衆がどれ迄動かせるか先づやつて見る迄だ。

□ 糸川二一郎氏

日露同盟を結ぶ事は目的の上から言つても手段の上から言つても必要の事と思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□ 鈴木楯夫氏

日露國交の回復は今日の形勢ではドウやら成立しさうではありませんか。誠に喜ばしい事で、私は此際日本政府も何時も我國を馬鹿にして居る英米の鼻柱をへシ折つてやるがよいと考へます。

□ 國領五一郎氏

一、同盟は英國から三行半を叩きつけられた日本の資本家政府は不甚無氣味だが兎に角ロシアと同盟する事に依つて國際的搾取と支配を目的とする懸引外交の舞臺で日本は列强各國に可なりの恐怖を加へる事ができやう。

二、ロシアは是に依つて尠くさも從來のやうに自國を鋭劍に依つて蹂躪される事だけは助かるだらう。如何に野蠻な日本の軍閥でも同盟國に對しては少し位遠慮するに違ひない。

□ 平林初之輔氏

日本の無産階級さ云ふ文字が少しもないのはどうしたわけでせうか。この御『所信』に對しては只一種の宣傳さしてのみ贊成します。但前半には無條件で贊成します。後半では外交關係に『國民』の『信實』など言ふものは日本側にもロシア側にも否どこの國にも期待する事ができませんから宣傳として以外には無意味な言葉と思ひます。

□ 淺野研眞氏

我々は日本の無産階級の立場から日露同盟の断行を期するものである。幸ひ愛すべき急進ブルジョアの一派も是を提說高唱しつゝある今日、我々はそれを充分利用することを忘れてはいけない。彼等の『同盟』『承認』は國外放資てふ國際的搾取のためである。然し我々のそれは史上に現れた最初のプロレタリア國家を中心とするインタナショナリズムの運動である。我々は飽迄全日本無産階級の全般的交渉として進めればならぬ。

□ 久保芳朗氏

日露同盟の締結、それはまことに結構なことである世界資本主義政局に對する重大な意義を有するものださ信じます。若し貴社の努力によつて、日本の無産階級が此の新運動を開始し、現に政界の片隅に單なる外交私見さして提唱されてゐる此の問題を、よし其の實現に成功しいまでも、國民的要望さして世界に報導することを得るならばブルジョア國際關係に龜裂を與へ、國際的分野を混亂せしめて、新興プロレタリ國家の存在を承認せしむる上に饑饉救濟や對露非干涉運動に幾十倍する無産階級的實効を齎らすものさ確信します。而もこの問題は全くプロレタリア階級によつて提唱され、階級運動の形態に於いてのみ吾々が要望する効果を得らるべきものださ思ひます

□ 本澤兼次氏

日露同監——大いに贊成です。常にブルジョアジーや其機關紙に依つて多數のプロレタリアは欺惑されてゐるやうですから、先づ民衆に徹底せしむべくあらゆる方法を以て宣傳するが必要さ思ひます。私はかやうな問題が起る度每にプロレタリア政黨の必要を痛感せずにはゐられません。我々は只遠方から叫んだゞけでは効果は餘りに少ない。貴社の此方面に對する努力を感謝します。

□ 吉田只次氏

非軍事的な非戰論の意味に於て、人類の平和を確立せんが爲の盟約ならば双手をあげて贊成です。

□ 神道久三氏

私も日露同盟を結ぶ事が極めて有意義な事ださ信じます。日露同盟は英米の大資本國を牽制し龜裂を生ぜしめやがて世界革命の前提たらしむる事ができる。國內的には資本主義社會の內部崩壞の氣運を促進せしめ且無産階級が正面攻勢を執るに就いて頗る便利である。失業問題には何の役にも立つまい。なぜなら若し日本の資本が增加すればするだけ勞働階級は社會的地位を失ふ事になるから。次に『愛國心』の問題は我々には別問題だ。世界に一つしかない併も各國から絕えず脅かされて居る無産階級の國家を支持し援助するのは無産階級の『責任』の問題だ。

□ 小川未明氏

戰爭さいふものがいかなる慘苛な人生に與へるかを知らない又その經驗がない常に戰勝を夢見てゐる輩は、戰によつて領土を擴張し行詰つた狀勢を解决しやうさ企圖するに相違ないが、劍に依つて立つ者は劍によつて倒れるさいふ眞理を知らないものだ。私達は日露の諒解を目下の急務さ考へてゐる。社會主義國家が資本主義國家以上に狡猾であり虛僞であり横暴であるさ考へられないからだ。

□ 片桐市藏氏

日露同盟を結ぶさ云ふことは有意義な問題であるさ云ふよりは寧ろどうしても結ばなければならない緊急事であらうさ思ふ。それは日本の現在の狀勢から見ても又は、人類將來の平和の上から見ても急務であるさ思ふ。

□ 大川周明氏

贊成です。

□ 川崎憲次郎氏

日露同盟の締結は我々の希望であり理想であり責任でありますが、國さ國との同盟が政府の手で行はれるものさすれば英佛の外交政策に阿諛迎合これ事さする日本の役人共には荷物が重すぎる。協同戰線は新しい意味の同盟である。同志ヨッフエの『インタナショナル・コッセツション』はこの意味に於て一種の同盟である。我々の希望さ責任さは日本の無産階級さロシアの無産階級さが直接同盟する事である。ロシアの利權讓渡やその他一切の交涉提案が政府の手を借らずに勞働組合乃至は來るべき無産階級政黨で、よく來たさ引受けられるやうに實力を築き上げればならぬ。現下の情勢に於ては日露同盟の締結を繰返し提唱力說して、『日露同盟』を全無産階級の輿論と信念さにする爲の運動は、極めて重要な事業の一つださ信じ貴社の提唱をできるだけ有意義ならしめる樣に助力したい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

□ 金内良輔氏

日露同盟(形式の事は姑らく措く)は日本の一轉機であり世界のそれでありませう。シンガポール大軍港の出現は華府協定が將來の戰爭の準備である事を明記しました。支那の事、印度の事、日露の交涉などが英國に或る種の決意をなさしめたことは察すべきであります。日米戰爭は日米二國間の戰ではありません。同盟は對等にして始めて有意義です。條約の國際法的技術は論外として折衝に肝賢の人を得なければ像を刻して話を入れざるものであります。

□ 山川亮氏

日本の資本家どもは通商はしたいが、承認はいやだと云ふのが、彼奴等の腹の底を割つた本音でせう。咽喉の奥から手が出さうになつてゐても、帝國の威信とか何とか云ふ亡靈にとつかれてゐる、日本の政治家どもは、なかなか素直にウンとは云はないで、種々なカラクリをして見せてゐます。それにも拘らず日本の民衆そのものは、眞正直に勞農ロシア承認日露通商を要求してゐます。瞭かな例がこの春の敦賀町々民大會の要求です。あの大會を見た人間なら、日本の官僚軍閥の徒が、どんな權力で阻止しやうとそれらには關係なく日本の民衆そのものは日露同盟を要求してゐる眞實と聰明さがあることは明瞭ではありませんか。

□ 藤岡淳吉氏

世界唯一の無產階級國家がどうであらうが、そんな事はどうだつていゝぢやないかなぞといふ、大杉一派の不眞自目極まるアナキストに非らざる限り、何人も貴社の提唱には贊成するであらうと信ず。

若し、それを否認さるが如き者ありとすれば、それは吾々無產階級の敵(敵でも可なりもの、分らない奴)か、其の走拘(例へば大杉の如きもの)と思ふ。

□ 三和一男氏

地球上に於ける最後のインペリアリズムの國として毛虫のやうに嫌はれて居る日本世界赤化の脅威を以て資本主義列強にブルドックのやうに恐れられて居る世界最初のプロレタリア國家である勞農ロシア、この兩國は異つた意味に於てゞはあるが、何れも國際關係上除け者扱ひにされてゐる。その間に何等か提携すべき要素があり、又曙光があるやうに思はれる尙より兩國の同盟は兩國の發展のために相互の採るべき最上の道だと考へます。があらゆる點から考へて我々はプロレタリア大衆の力に依つて一日も早くこれを達成せしめればならないと思ひます。

□ 小牧近江氏

貴社が常に新しい動きに進まれてゐる事に敬服して居ます。いふまでもなくロシアと卒先手を握る事は大贊成です。狹少な愛國心から言つても日本はイギリスやアメリカに依らなくとも自ら欲する事が出來ると云ふ外交上の一展開ではあるまいか。この機會と同時に日本の無產階級は禍を今日に及ぼしてゐるヴルサイユ條約そのものにも具體的反對をして置く必要があるまいか。

□ 千葉龜雄氏

日露同盟の有意義はもう議論をする餘地のない程白明なことで、もう議論の時代ではないのですから私も別によけいな議論を添ひやうと思ひません。

□ 島中雄三氏

日露同盟大に結構です。行詰らんとせる日本の諸情勢に展開の途を見出す上からいつても、行き詰らんとせる資本主義日本をして自繩自縛に陷らしむる上からいつても單なる非愛國心からいつても、蓋しブルジョアとプロレタリアと、愛國者と非愛國者とが擧國一致して贊るべき一大事業であると存じます。

□ 遠藤友四郎氏

日露同盟の事、贊成も贊成大贊成です。これができたら資本階級の方でも一時いゝだらうし、革命階級の方ではもつといゝ、そしてその積極的必要の理由は發問內容以外に深大に在る僕等も僕等の小言論機關で特に取扱ふ事にして居たばかりの處だ。

□ 新居格氏

日露同盟も贊成、日獨露同盟もよし日本は全く今十字街頭に立つて居る。でその選擇の如何に依つて、非常に違つた運命と開展とを見るであらう。英米資本主義の方へ色氣を持つか獨露特にロシアに向つて手を差出すか、その二つだがその選擇は日本のためにも(日本の無產階級のためは勿論のこと)ロシアと握手することにあると斷言したい。それは日本が將來的に生きる途だ、日露交涉なぞも目前の小事件小問題の處理に討議をうろさくせず思ひ切つて何もかもサラリッと片づけてその上で無產階級國家の味方となり力となる事だ。

□ 青野季吉氏

日露同盟を結ぶ事には大贊成です。日本の勞働階級は既に明白にその意志を表示してゐます。世界唯一の無產階級國家と世界無比の軍國主義國家とが同盟を結ぶには、その間にはいろんな困難があるだらうが、そんな困難などは押し切つて進まねばならぬ必要に迫られてゐるのが軍國主義國家の實情です。しかし敢然として『同盟』とまで進む勇氣が意久地のない日本の支配階級にありますかな。

□ 細迫兼光氏

通商や承認を切望してゐる小生としては勿論贊成です。

□ 津田光造氏

日露同盟締結に對する御提言總べて贊成です。それは有產階級にとつても同樣無產階級にとつても刻下緊急の義務だと思ひます。各人が國家とか思想とか言ふ概念、或る成心からでなしに、各人の利益から打算して今、日露が握手し合ふ事の必要と急務とを思はない者は恐らく一人も無いであらう。皆に利益となる事だからサッサと握手した方がいゝ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□ 福田秀一氏

貴社の御意見には衷心より贊成する所であります。

□ 宮崎龍介氏

日露交渉は出來るもよし、出來なくもよし、何れにしても遠からざる將來に日本に大難の來る事は避け難からう。ロシアと云ふ社會主義國とアメリカと云ふ資本主義國との間に挾まれて日本と云ふ無方針の國家は死の藻掻をやつて居るとしか思はれない。貧乏なくせに金持な友達にして、ブル氣分の外交のみを事として居る日本こそ氣の毒でならぬ。丁度氣位ばかり高い貧乏華族が大勢の潮に押し流されて亡びるやうな悲喜劇に陥られば幸である。日本にして眞に生命ある道を選ばうと欲するならば此際猗套を脱ぎ棄て裸一貫の無産者に歸つてロシアに限らず世界中の無産者に向つて握手すべきではなからうか。

□ 藤原榮次郎氏

御質問に就いては吾々は是非日露同盟が一日も早く締ぜられ度いと思ふ。七年に亘つて惡戰苦闘して來たロシアの兄弟は、今や新經濟政策に依つて、新社會を建設する條件の第一歩を進めんとしてゐる。ブルジョア各國がこれに對して狂及と惡辣と經濟封鎖を以つて報ひてゐる今日、我等無産階級青年は、如何なる難關に遭遇するとも、如何なる政治的經濟的壓迫に對しても絕對に生命を堵して援助し、迫害と暴虐に對して戰はれればならない、『働かざるものは喰ふべからず』の原則により堅められたるロシア社會主義聯邦ソヴイエット共和國に對して、世界唯一と稱せらる、帝國主義的資本主義國家たる日本の無産青年は、無産階級の立場から日露同盟を熱叫を以つて贊意を表する。

□ 植原悅二郎氏

無産階級とか資本主義とか云ふ問題に非す。我等の存立と其の發展のためから露國と善隣の關係を結ぶ事は焦眉の急務なり。露國の内政の問題は露國の事に屬す。これは我國の問題に非ざるなり。

□ 南鼎三氏

人類はお互に有無相通じて幸福な生活をせねばならぬ。他國が共和共産だらうが、無政府だらうが帝政だらうがそれはその時代に於ける適應的主義だから致方が無い。相手の毛色や心持を基準として承認云々は云ふ方は間違つて居る。金持旦那と交際を好み貧乏無産と結ぶを嫌ふやうな人間の氣持は下劣である。金持から高利で金を借りて喜ぶやうな現代の人類は亡びざる限り生活の苦難より逃れる事は出來ぬ。舊習に行詰れる我國は解以の袖にある露國と結んで凡ての有無を通じて空氣をメラシストする事は兩國民の幸福であり人類の心持を豊裕に導く手段である。

□ 高木正年氏

日本外交の建直しは露國の承認とその同盟の力に依つて英米をして我を侮る能はざらしむるにあり。物々交換は社會を接する國に於て克く之をなし得べし。露國に通貨無きもシンジケートに低利資金を供給し彼の原料と我が加工品を交換し産業復興の途を開くべし。

□ 横山勝太郎氏

謹啓陳者

小生は露國の實狀に通ぜず直ちに日露同盟に贊成致兼候。同盟よりも通商問題並に勞農政府承認問題を解決する事が最善の急務なりと思料す。此問題は露國の内政を攻究する事を得る機會をつくるものにして總て同盟に迄進轉する階梯かと存候 先は御返事迄如件

□ 尾崎行雄氏

拜復小生は不取敢通商を開始するを可とする者に御座候。

□ 松本君平氏

日露同盟は小生の最も贊成する處に有之小生は今まで日本が通商と承認とかを考へるよりも更に一歩進んで同盟まで押進める事が希望するものにて此の事は本年四月小生が熱海にヨツフエ氏を訪問會談せし際に主張した迄に候、今後日本は日英同盟の代りに日露同盟を以て我が外交の樞軸とせなければならぬと考ふ。日露提携して英米の勢力に拮抗し、支那を料理する工風無かるべからずと確信す共産露國と帝政日本の提携は露佛同盟よりも意義ありと信ず。

□ 秋田清氏

拜復御來示の件全然同感、贊意を表し申候匆々。

□ 大口喜六氏

大體に於て贊成。

□ 根本正氏

拜啓

露との平和協定は是非成立を希望致候樺太及サガレンは日本の權内に屬せしめ度存候也。

□ 橋本徹馬氏

御申越の大體の御意見は至極贊成でありますが各方面の事情から考へると今實際問題としては、日露同盟は時機が早いと思ひます。只それ程の氣持で露國に對する事は必要に思ひます。

□ 内藤民治氏

世界は將來必然的に、二大勢力範圍に分括されんとする傾向を以つて進んでゐることは、恐らく何人も看取するところであらう。その一はアングロ、サクソン系の意識的合同と大資本國家の亞米利合衆國を中心とした。謂ゆる『白皙文明』の發達である。これに對して、地理的歷史的に關聯するアングロ、サクソン人種以外の有色人種の提携を豫想することが出來る。アングロサクソン系以外の勢力合同とは何か。我等は日支露獨の提携から生ずる力を意味する。

我等當面の急務は、日露兩國に一貫する『文明の大道』を建設することにある。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民運動の危機

政治ゴロに瞞されてはならぬ

稲村隆一

今や農民運動は重大なる危機に瀕してゐる。

殊にそれが經濟の問題より政治の範圍に擴大されんとする時農民運動の陣營は甚しき混亂に陷る。現に日本農民組合の有力なる鬪士であり、群馬小作人運動の重鎭である某氏は本部に何の斷りもなしに小ブルジョア政治運動屋と協同し、農民黨の如きものを組織して縣會議員選擧の運動に奔走するとの事である（新聞紙の報告だから確かな事は判明しないが）若しかゝる事實があるとするならば、我等は斷乎としてかゝる人に對して小作人運動の裏切り者であることを宣言する。

勿論我等は政治運動の否定論者ではない。殊に農民が經濟的爭鬪のみをもつて滿足せず、政治的鬪爭の分野に驀進せんことを心より希望するものである。だから我々は農民黨を組織する事にも別に不贊成ではない。

然し乍らその農民黨が何等無産階級的な綱領を有せず、その根本に於て資本主義經濟制度の徹廢を目標ともせず、單に縣會に議員を送る事國會に代議士を出す事であるならば實に許す可からざる愚劣な盲動である。

今埼玉新潟群馬岡山等諸々に表はれたる之等農民の政治運動を見るに何れも皆明確なる階級的立場にあるものでもなく只漠然と農民の代表を議院内に送らうとするにすぎない。

我々はよく考えて見なければならぬ。普選が布かれたならば小作人も選擧權を持つであらう今でも多くの自作兼小作は選擧權を持つてゐる。今後代議士等が投票をかき集めるためにはどうしても小作人に賴らねばならぬ。

そして彼等職業的政治家は今地方農民が普通選擧や政治的デモクラシーを要求してゐるのにつけこんで曰く『普通選擧になれば農民は多數である。從つて天下は多數黨となる。農民黨は農民のものとなる。我々は今後農民諸氏の爲全力を盡さん』と知らないものは欺さるだらう。

然し乍ら我々が一度現代の職業政治家の正體や現代日本の政治組織の本質を知るならば如何にその言が出鱈目であるかを容易に知ることが出來る。

第一現代の職業政治家壯士ゴロの末輩に至るまで皆資本家階級に寄生する事によつて生活してゐるのである。彼等にして少しでも小作人や勞働者の爲にでもすれば忽ち口は干るのである。

彼等は明かに資本家地主の犬である。そいつ等が如何に普選を唱へたからと云つても小作人の爲になるものでない。

又日本の政治組織はどんなものであるか。衆議院の多數黨でなくとも立派に内閣を組織出來る。もし之に不服を唱ふるならば忽ち解散を命ずる。日本の法律は警察に何等の責任もないか

ツッカヘ棒をぶち折れ

（ある人足の手帖）

一

昨日は土手の土運び、今日は大工の手傳ひと、いつた具合にまるで俺達土方人足は浮草みたいな稼業だ。親方といふ吸血動物の頤の動き方一で、其日々々の俺達の仕事場が定まるんだからみじめだ。それで少々でも不氣嫌な顔でもしやうものなら大變だ。「てめえ、やだつてんだな」フン、下水の中ぐれえ潜れねえで今日飯が食えるかい。毛だもの奴一と、がみつかれて仕事を取上げられて終ひ、財布が空だつた日にや、水でも呑んで一日空腹をこらえなければならない。俺達土方人足は、かうした饑餓を加へられても、結束のない悲しさに手向ひが出來ないのだ。よしまた結束して部屋の親方に反抗した所で、おん出される位が關の山だ。親方は二言目には俺達にかう云ふんだ。「手前らみたいな人間はウヂヤ〱あふれてるんだ。手前ら一時に此處を出たつて人間にや不足しつこはねえ」だから俺達は職工みたいに賃金値上や時間短縮の運動ぢや、到底ラチが明かないんだ。

何でもこんなよくない社會はこれ以上永く續かせない事だ。それには、社會のツッカヘ棒を叩き折つちまうが一番早道だ。ツッカヘ棒さへ、ぶち折つて終へば、こんな安普請はガタ〱と來るな極まつた話だ。

二

俺は毎晩、部屋の連中を集ては、かうした話をしてゐる。此頃ぢや人數も増し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ら反對黨の運動員を脅かして拉致して選擧干渉をやる。政府黨が常に多數黨となるは日本の政治史の證明する所である。日本の政治は多數黨が內閣を組織するのではなく。內閣を取つたもの必ず多數黨となると云ふの絕對の法則である。況んや內閣組織の運命は一に元老や樞密院にある。農民が如何に多數黨を形成しても彼等が農民の味方となるとは誰が豫想し得ようか。

例へかゝる日を豫想し得るにしてもいつの世かわからない。

要するにプロレタリヤ農民が議會に多數黨を得て然る後天下を徐々に取らうなどとはとんでもない空想妄想である。

實に政治的改良主義や漸進主義は一種の迷想である。

それを考えないで小作人が多數黨となる爲政治運動をやるなどは馬鹿馬鹿しいにも程がある

殊に縣會の問題で狂奔するが如きは愚の骨頂である。我々は之を小作人運動の自殺であると云ふに躊躇しない。

村會や農會を小作人が占領することは實によい事である。それは直接利害關係を小作人の上に及ぼす。我々は双手をあげて之には贊成する。

それでも村會に出た小作人の議員が誘惑されて墮落した例はいくらもある。況んや縣會などに漠然と目的もなしに出たらそれこそ墮落に行く樣なものだ。

勿論我々は效果のある所なら少し位墮落や犧牲を忍んでもよからうが、一體縣會に入づて何の効力がある縣會には殆んど小作人に直接關係ある問題はない

まだ國會の方が增しである。たとい小作人が縣會で、かなりの勢力を得ようと縣會では何も出來るものでない。そんな事は只徒らに勢力を亂費し苦しい小作人の財政を益々困窮に導くものだ。

全國の小作人諸君！

諸君は經濟鬪爭に於て地主と小作人との利害關係の相背反せることを明確に見つめてゐるであらう。然らばその延長である政治鬪爭に於ても地主と小作ブルジョアとプロレタリアは絕對に相容れざる事を知らねばならぬ。そしてプロタリアが死ぬか生きるかの境は實に政治鬪爭の方面である。

勞働者や小作人が政治上の方面に於てブルジョア地主と妥協するなら我々の運動は墮落し永遠の闇に葬り去られるであらう過去の歷史はよく之を我々に教示してゐる。

再言す、我々は決して小作人の政黨を作ることに反對するものではない。只小作人が政黨を組織し政治運動をなさんとするならば純粹なるプロレタリアと小作人の立場より宣言綱領を發表し、現在の制度の否定し新しき社會制度建設を目標とするものでなければならない。

そしてその政黨を組織することは決して議會に入ることでもない又縣會に出ることでもないそれは無產階級小作人の全郡全縣全國の團結を組織しその大衆的威力を持つてブルジョア政治運動に抗爭挑戰することである

全國の小作人諸君！

苟も小作人にして小ブルジョア職業政治家や政治ゴロと妥協して縣會議員の選擧場裡に立つが如き暴擧を敢てするものは小作人運動の裏切者である。

我々は斷乎としてかゝる分子を排斥糾彈せねばならぬ。

熱心に聞いて呉れるので、俺も大いに油が乘つて來てゐる。

此の間は、俺の友達がパンフレットと書いた薄い本をどこからか持つて來た。

社會主義の本だ。俺は繰返々々讀んでとう／＼夜を明かして終つた。これで今日の社會の組織といふものがはつきりわかつた。俺はまるで、盲目の目が開いた樣な嬉しさを覺えた。俺は思はず床ん蹴つて起き上つた。双腕が、拳をかためると、何か知らぬがブル／＼とふるふ。さあ來いと俺は思はず叫んだ。と同時に働く事が第一に馬鹿々々しくなつて來た。

俺達の働いた結果は、資本家といふ奴が片ッぱしから絞り取つて終ふといふ資本主義社會のからくりを知つたからだ。每日、受取る一圓六十錢といふ賃金が、十二時間、牛馬の如くにコキ使はれた揚句の絞り滓なのだといふ事を知つたからだ

三

けれども、馬鹿々々しいからと云つて此處をとび出たつて始まらない。社會の組織を立て直さない事にはどこへ行つても駄目だ。立て直す前には、やはりツ、ツツカヘ棒だ。俺の考へは間違つてはゐなかつたんだ。よし、此の考へを、俺達の仲間に知らせよう。俺達の仲間は皆な命知らずだ。此の命知らずの賴もしい俺達の仲間を、敵に引つぱり込まれちや大變だ。俺達の仲間で、金に目がくらんで國粹會だの赤化防止團へ加つてゐる奴もゐる。俺には金はないが「考へ」と「根氣」とが有る。俺達の仲間は、一人殘らず俺達の味方につけてやるぞ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

講話（一）

監獄入門案内

（入監者及其家族心得）

福田狂二

監獄へ入つたのは前後五回、通計七年八ヶ月で、東京衛戍監獄あり、大阪衛戍監獄あり、陸軍懲治隊監獄あり、東京監獄豊多摩監獄あり、上海工務局プリズンあり、刑期は三年が二回で總計僅か七年八ヶ月であるが、監獄と云ふ事に就いては多種多樣な經驗を持つて居て同志間に於てこの稿を書くが適任者であると自信して居るが、扨文章を書くことが嫌ひだから、讀者諸君に滿足が行く樣に案内できるかどうか怪しいと言ふことを豫め斷つて置く。

【監獄の性質】 監獄は國家が犯罪者を懲戒して悔悛せしめ善良なる國民となす所である。即ち資本制の犧牲者集合所より、餓えたる人々、餓えても積極的に自殺をなし得ざる人々、死線を超えたる人々が居る。プロレタリアにとつては監獄は生の苦熱を脱れたる仙境である。

世間では犯罪者を惡人と言ふが、私は決してさうは思はぬ。彼等は世渡りの下手な正直な人々である。彼等は法律をうまくゴマ化して行く事が出來ない彼の軍艦や瓦斯を食つてゐる大臣や議員や、勞働者を搾取する資本家よりは善良な人々である。

扨昔は威壓主義をとつて獄内で拷問毆打等あらゆる暴行をした。所謂文明國では犯罪の原因結果を調べてその人に應じて敎養を授け、相當の効果を擧げて居るやうに見えるが、元來犯罪者は前述の通り社會組織の缺陷より生ずるものであつて、如何に監獄に數度拘束しても、全く犯罪を根絶する事は不可能である。犯罪學の大家ロンブロゾー博士すらも「社會制度を根本的に改造せざれば犯罪者を根絶する事は不可能だ」と云つた位だ。であるから犯罪人や監獄のあると云ふ事は現在の社會制度に於ては免るべからざる事であつて犯罪人が社會制度の犧牲者となつて居ると言ふ事が、即ち現在の社會制度を維持して居ると言ふ事になる。そこで監獄に入らない人々は此の犧牲者に向つて敬意を表し感謝しなければならぬ。

【監獄の種類】 拘置監は俗に未決監と言ふ。刑事被告人即ち未決囚を收容する監獄である。死刑の宣告を受けた者もここで死刑を執行される。又罰金、科料の換刑者、拘留に處せられた者も置いても好い事になつてゐる。未決監として獨立して居るものは東京では東京刑務所である。大阪では大阪刑務所若松分監である。その他は皆旣決の懲役監禁錮監と同じ所に在る。

【東京監獄】 東京監獄は東京市牛込區市ヶ谷富久町にあつて、常に六七百名の未決囚を收容してゐる。日本で一番古い木造の不潔極る監獄だ。是位汚い監獄は支那の田舎にある監獄位のものであらう。第一監から第八監に分れてゐてその中の第四監と第八監が獨居房であつて、後は全部雜居房である。第五監は旣決の懲役の一年以下の短期四六十名斗りを入れて置くが、是は炊事、洗濯、掃除等に使ふ爲に置いて居る。此處から毎日七十名内外の者が自働車で取調や裁判に出る爲に裁判所へ出る。裁判所へ行く時は前夜に本人へこの事を知らせる。この裁判に出る時には、どうかすると自働車で妙齢の美人と相乘りする事がある。これは東京監獄の一部に女監があつて、其處から裁判所に引き出される未決女囚である。此の女囚は大抵萬引や痴情から起つた犯罪だから美人が多い。あれ程の生縹を持つて居て、何故監獄に來るだらうと思ふが、犯罪の裏に女あり、外面如菩薩内心如夜叉と言ふから、その邊の消息を語るものではなからうか。それに引き換へて女監の看守即ち女監取締位ゐ醜婦の集つた所は社會にも珍しい。そして女監には看守長以上でなくては入る事が出來ない規則になつて居る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

【入監】 初め入監した時は新入と稱して新入調所があつて、看守部長が主任をして居る。そして裁判所又は他の監獄から來た者を受取る。先づ姓名を呼び原籍現住所、犯罪の種類、生年月日を取調べ、所謂留置品と稱して、その人の携帯品一切を受取り員數を調べ、身體檢査をして一々身分帳に書入れ、そして獄則の大要を話し聞かせて、監獄の靑い着物に着換へさせ、左の襟に番號を着ける。この番號は稱呼番號と言つて、監ひに居る間は其の人の名前である。この番號を嫌やがる者があるが、是は辱める爲で無く、整理する爲であつて、非常に便利なものである。次いで函に入れられる。この函は豚函又はシャモ函と云ひ幅と横が二尺五寸位で縦が六尺位あり、中に腰を掛けられるやうに板が打つてある。この函に入れて置くのは、大勢を一緒にして取調べると互ひに話をしたり犯罪を隱蔽したりするからだ。この間退屈なものだから、爪で板に落書をしたり、板をコツ／＼叩いて隣の者を呼びコソ／＼話をしたりする者もある。皆の取調が終ると本監に連れて行く。本監では其の日の當直部長が受取つて、そして監獄に入れる。その際、茣蓙、枕、食器を呉れる。それを又各監の受持監看守に連れて行つて渡すと、受持監守が又調べて監獄に入れて房内の遵守事項を敎へる。此處で本當の囚人となるわけだ。

【監房】 監房の構造は獨居房の方は間口一間一尺、奥行は一間半である。雜居房は色々あるが十疊位から二十疊位のもある。そして扉は一間位の高さで非常に頑丈な木や鐵で造つてある。初めて入つた者は看守が扉をピシンと強く閉めて脅す。その震動が監房の窓硝子に響くと心臟にピリッと應へると氣の弱い奴が言つて居る。窓は大抵扉の反對の側にあつて外を見る事が出來ないやうに高い所に着いて居る。

未決監では疊を敷いてよい事になつて居る。監房の隅に便器があるし、その向ひには金盥と水桶がある。だから態々便所へ出かける面倒もないし、食物は三度々々監獄迄入れてくれるし、看守と云ふ役人が給仕をしてくれるから官費の下宿屋に居るやうなものだ。

【點檢】 朝起きると點檢がある。點檢と言ふのは人員檢査だ。當直部長が受持看守と二人で、囚人の番號を呼んで顏を見て歩く。それからすぐ食事が來る。

【食事】 飯は四分六の麥飯だ。未決や禁錮囚は仕事をしないから一日三合六勺だ。この三合六勺を十等飯と云ふ。飯は一等の九合から一等を下る毎に六勺宛少くなつて十等迄ある。過激な作業即ち勞働に從事する者は飯が餘計に與へられる。菜は一日一人前五錢であるが、監獄に依つて畑を澤山持つて居る所がある。豐多摩とか秋田とか松江とかは非常に澤山あつて囚人の食物を作つて居るが、地代は無し税金は無し、そして肥料は囚人のヒリ給ふ糞尿だし、耕作する者も囚人で一日十五錢位で使へるから、ホンの種代位で出來る。それを監獄で使ふのだから、畑の澤山ある監獄にゐる囚人は幸福なわけだ。何時も新鮮な野菜を舌鼓を打つて平げ給ふのだ。そして旺盛な元氣を養成する。東京監獄は悲しい哉この畑が一畝しか無いから、菜代の五錢で市場から買入れるので分量がバカに尠い。倉物の點に至つても東京監獄が一番惡い。しかし未決囚は領置の金即ち自分の金で辨當を食ふ事が出來る。又親類や友人から差入れる事も出來る。

【差入】 食物の購求差入れは辨當、パン(砂糖共)牛乳位で辨當の中に菜として果物を入れる事も出來る。又仁丹を入れる事も出來る。外から差入れる場合には監獄の前の差入屋に任せると言ふ事が一番好い。さうすると差入れが二重になる憂が無い。辨當は三十錢か五十錢位のものである。中には三圓もする辨當を食つて居る者もあるが、是は大泥棒をしたブルジョア共である。高橋義信の如きは泥棒をした瓦斯代の殘りで食つて居る。若し僕等の同志が入つたならば二日目に辨當一本位夕方に差入れるが一番よい。朝に辨當を差入れる人もあるが、朝には監獄の味噌汁を食つたが一番よいやうに思ふ。社會主義者には辨當を差入れる必要が餘りないだらうと思はれる。

耶蘇教迫害史を讀む

藤井國雄

特權は常に暴虐である

特權階級が、搾取と支配と貪婪との特權を失ふ事を恐れ、その前には恐るべき無智を暴露する事も、言語に絶する慘忍を敢てする事も、省みるの暇がない事は、昔も今も東洋でも西洋でも、定まつた一つの型に嵌つてゐる。歷史は階級鬪爭の歷史だと言はるゝが、それは又强者の暴逆の歷史であり、慘憺たる迫害流血の歷史である。

此の迫害史慘忍史の幾頁は、德川幕府が試みた基督敎撲滅の記錄に依つて埋められてゐる。

そうして迫害史は同時に、殉敎史である。强權の壓力が黑色の慘虐さを增せば增すだけ、それに對する武裝なき大衆の信念は益々熱を帶びて燃え上り、遂に殉ずる犧牲の戰は、鮮血を以つて染め出されて行く。如何なる權力の、如何なる暴虐に對しても、大衆の戰士が跡を絶つた事は無い。强力が、迫害の戰に勝ち誇るまでに、敵を最後の一人まで征服し盡し得た記錄はない。かくて、迫害の歷史は必ずその半面に於て、美しき死戰の歷史であり、尊き犧牲の記錄である。此の點に於ても基督敎の撲滅史は、實典型的なる異彩を放つてゐる。

こゝに、德富蘇峰氏の『日本國民史』より、基督敎迫害史の一節を拔き出す事とした。資本主義的特權階級の、逆襲的なる毒及が、愈々揮ひ始められんとする今の日本に取つて、此の文章は深き暗示を含むものだと考へられる。

寬永十三年、所謂鎖國令なる『過激法案』が發布せられた。それは實に、大正の資本主義幕府が發布せうとしてゐる過激法案が共產主義鎭壓を中心とせるが如く、基督敎撲滅を要旨としたものであつた。中に左の如き條項がある。

一、キリスタン訴人褒美の事。

バテレンの訴人はその品に依り三百枚、或は二百枚たるべし。

此の事は、警視廳がスパイを使つて社會主義運動を搔き廻すのと古今同じ筆法である。

一、異國へ渡り住宅仕る日本人來り候はゞ死罪申付くべき事

之は又露西亞から歸國した者は、何でもかでも浮浪罪などの名義で、一度は必ず牢に入れる今の日本政府とよく似たものだ。尤も死罪が拘留になつたゞけ、世の中は有難くなつてゐる。

平山常陳

平山常陳なる日本人船長が、二名の宣敎師を入國せしめやうと、窃かに自分の船に潛伏せしめてあつた。それが海賊に襲はれて發覺した。幕府は、此の三人及び、その渡來を扶助した者十二人を捕えて死罪の刑場に送つた。その模樣を、蘇峰氏の文に依る。

『此の日薪柴を積むに、罪人を距る七八步の所に於てした。此れは遠火に炙りて、其の苦痛を長くせんが爲めだ。又た日本の火刑は、泥土を塗りたる藁繩にて、罪人の手足身首を縛し、繩の燒斷する中に死せしむる法であるが。奉敎者に對しては、綏く隻手のみを縛し、火焰の熱に苦しみ、少しく身を動かせば、縛繩乍ち切斷し、覺えず卑怯の擧動を爲さしむるか、或は五體を動かし、堪へ難き苦痛の狀態を爲さしむる乎、何れにしても其の醜態を暴露せしむ可く、故らに此の三人に對しては、此法を用ひた。

斯くて十二人の殉敎者を斬り而して後三人の火刑を施行した。二人の敎師は日本語を解しなかつたから、ジョアキム(平山常陳)に託して、代つて演說をなさしめた。彼は流るゝ如き雄辯もて、自若として演說する一時間に至つた。獄卒は之を中止せしめんとしたがジョアキムは、予は天主の命を聽くが、汝等如き人間の命を聽く者でない。汝等若し予を苦しむる法あらば、之を行へ、予は本分を盡さゞれば止まぬと答へた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此際二教師は、仰で天を望み泰然として動かず、二時間焚燒の苦を忍び、毫も苦痛の色を現はさず、始終一の如くして死した。』

人間の社會にて見るを得る、凄慘壯烈の限りであつた。

全國到る所刀炬

迫害の火の手は全國に揚げられた。江戸では、五十人、三十人と言ふ、集團的殺戮を行ふを始めとし、全國到る所、白刄と火焰とが信徒に差向けられた。伊達正宗の如く、曾ては羅馬法皇の歡心を買ふべく使節を送つた者さへ、教徒迫害の巨魁と言はるゝ程の慘虐をやつた。武士道の蔭にかくれて、一身一家の安泰に餘念なき大名共が、幕府の意を迎ふる爲めに相競ふて迫害を事としたのは、恰かも政府の歡心を買はんが爲め、社會運動を敵とする現在の地方官吏と全く同一の利己心理に基く。

耶蘇教の本場たる九州は、又實に迫害の本場であつた。

『板倉重政は、未曾有の苛虐を耶蘇教徒に加へ、教徒撲滅に就て忠節を抽でんと欲し、領内に告示して、信徒の名簿を書き出さしめ、女子は後廻にして、先づ男子のみとし、苟も男子なれば子供は勿論、分娩後僅に二日を經たる者さへ漏らすなからしめた。而して三個の鐵印を製し、一は『きり』の二字、一は『し』の一字、一は『たん』の二字を刻み、之を火中に烙紅して、信徒の額部と頤頬とに烙記せしめた。斯く三個の印としたのは、文字の大にして一所に印し難きと、故らに苦痛を、より多く信徒に與へんが爲めであつた。

江州の一商人が東海道鈴ヶ森に目擊した教徒火殺の狀を歸國後畫工に描かしめたる原畫の模寫。

囚徒は老幼を問はず、男女を分たず、悉く手指を切斷し、二條の繩にて、囚徒の手と足とを縛し、嚴寒の候に際し、之を海中に沈め。暫らくして又た引き揚げ、呼吸せしめて又た沈め、此の如くする數回其の遂ひに改悔せざるを見て囚徒の頸に石を結び、海底に沈めた。』

その他、温泉岳の噴火口に投じて殺したとか、邸外に縛つて投げ捨て、生きたまゝ野犬に喰はしたとか、考へ得らるゝだけ痛慘な手段を、信徒の頭上に集中した。

悲壯なる英雄美

此の迫害の雨下する中に、信徒は如何なる態度を取つたか。それこそ實に賛嘆すべき英雄的悲壯の極みを示したものであつた。

こゝに、エロニモ師、ガルベス師、原主水等五十餘人が、江戸にて刑殺せられた時の有樣の如き、白刄も火焰も一瞥だに値しないとした彼等信徒の、意氣

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と面目との一班を窺はしむるに足るものである。

「十二月四日の朝、彼等は牢獄より引き出され、悉く後手に縛り、三組に分ちて、市中を引き廻はした。第一組には、天使のエロニモ師を、細く痩せたる馬に乘せ、眞先に進ませ。遠藤シモン、竹屋レオ、其他十四名を徒歩にて從はしめた。第二組は、ガルベス師にして、同樣の痩馬に乘り、十六名の信者を從はしめた。第三組は、原主水にして、太く逞しき馬に乘り、殘餘の信者を從はしめた。監獄の中にて、敎を棄てたる一人は、刑場迄伴ひ行き、其の入口にて放免した。

彼等は意氣揚々として、凱旋の將士の如く、江戸市中を練り行いた。而してエロニモ師は、特に欣然として、途中に於て講義した。刑場は東海道の品川だ。四方に竹柵を結び中に五十本の柱を並べ立て、別に三本の柱を少しく隔てゝ立てた。薪は三尺ばかりの距離を置いて、山の如く積み上げた。而して檢分の役人は、何れも床几を列ね、見物の群集は眞に人山人海をなした。原主水は、刑場に著するや、大音聲にて、予は德川殿の旗下に其人ありと知られたる原主人だ。今度道の爲めに死す是れ予が勝利であると呼はつた。而して刑吏は兩師と主水とを、騎馬の儘、竹垣の側に連れ行き、他の四十七人を柱に縛し、其の棄敎者一人を放免した。

群衆の中より一人跳り出で、速君は何故に敎を捨てた乎、速かに悔ひ改めて、刑に就けと勸めたが、彼は之を容れなかつた、此に於て同人は刑吏に向ひ、予は信徒なれば、彼の放免者に代りて刑に就かんと願ひ出で、許されざるを見て火中に飛び入らんとしたが、遮られて能はず、遂ひに投獄の後、やがて死刑に處せられた。而して放免者も亦た二日の後、狂死したと云ふ。扨も能辯なる遠藤シモンは、柱に縛せられつゝ說敎した。此の原及び兩個の師父には、恐怖の念を生ぜしむ可く、竹垣の側に馬上にて立たせ置れたが、彼等は却て其の最後の勇ましきを眺め、歡喜の念を生じた。而して愈よ彼等の順番となるや馬を下り三本の柱に近き、柱の下に伏て禮を爲し、第一に原、第二に天使エロニモ、第三番にガルベス、何れも柱上に縛せられ、目を鎖し、火の至るを待つた。天使のエロニモは頻りに江戸の町を眺め、天を仰ぎ、江戸街の事に就て深く天主に願ふ色を爲した。而してやがて火の方に向ひ、聲を揚げて敎を說き始めたが息の絕ゆると與に、其聲は絕えた。原は火に向ひ、手を開き頻りに燒けるを望む樣であつたが、一時間を經て地に倒れた。ガルベス師は、柱を抱へ、生命の終る迄動かず、死後尙ほ柱を抱へて立つてゐた。

奉行等の刑場を去つたのは、薄暮であつた。彼等の屍體は三日間曝されたが、大勢の信者來りて、聖き遺物として、之を奪ひ去る者が多かつた。將軍之を聞き、番人を附して見當り次第之を捕へしめた。其後此れが爲めに、捕へられた者三百餘名に及んだ。」

今、日本の社會運動は一大難關に當面してゐる。牢獄、絞首臺を以つてする正常なる迫害の他に、無賴の徒を嘯聚して結ばれた暴力團は、白刄と銃丸とを以つて殺到しつゝある。我々は自ら死屍となるか、味方の死屍を蹈み越えて進むか、二者何れかを選ぶの他なき日が、何れ近づくであらふ。遠き過去を顧みて權力慘虐の跡を考へつゝ、我等自身の近き將來に思を潜めなければならぬ。

所謂共産黨事件を口實とし、又例の死に損つた過激法案が操り出されるそうである。今更それに驚く者も澤山は居ないが、それやこれやで、迫害期は段々進んで行く事だけは確かである。

無産階級の運動は、水の流れと同樣に必ず行く所へ行く。耶蘇敎の迫害に依つて、その傳播を二百年餘り押し止めたやうな好成績は、社會主義運動に對しては不可能である。その點に我々は氣を大きく持つ事が出來る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

パンフレットを讀め

社會主義運動は思想運動から始まる。思想に對する理解を抱くと言ふ事は、すべての運動の第一歩である。

パンフレットやリーフレットは簡單な用意の下に、社會主義の智識を一通り吸收する爲めに最も適當な讀みものである。深き專門的な研究は勿論出來ないが、智識の入口はこれである。

自分が本統に眞劍に働かうと思ふ運動が、如何なる理論上の根據に立つかを知らなくて滿足の出來やう筈がない。それで、眞に熱心な運動家は先づ熱心に智識を求める。智識に對する態度は運動に對する態度のバロメーターだ。

社會主義の宣傳は思想の宣傳から始まらなければならぬ。それにはパンフレット、リーフレットの配付が最も適當である。如何なる塲合にも許さるべき方法として、諸君の運動はこれから始める事が最も容易である。

進め社は種々のパンフレットを取次ぎする。始めての人には選擇してあげてもいゝ。

リーフレットを讀め

堺利彦 **新社會主義學說大要** 定價四十錢

山川均 **資本主義のからくり** 定價三十錢

社會主義の全體を一通り知る爲めの本として、どちらも最も適當なものである。始めて社會主義を知らうとする人の、是非一讀しなければならぬものである。二冊ながら、全く嚙んで含めるやうな、親切な說明に依つて、入門書の役目が果されてゐる。

無產社リーフレット

- ▲金持と貧乏人 堺 利彥 ・〇二
- ▲婦人問題 山川 菊榮 ・〇二
- ▲勞働婦人の解放 山川 菊榮 ・〇二
- ▲勞働運動桃太郎 堺 利彥 ・〇二
- ▲智識階級に與ふ 山川 均 ・〇二
- ▲農村問題 山川 均 ・〇二
- ▲農民運動の目標 佐野 學 ・〇二
- ▲犬芝居と猿芝居 安成 貞雄 ・〇二
- ▲文學青年に訴ふ 平林初之輔 ・〇二
- ▲特殊民の解放 一特殊民 ・〇二
- ▲宗教病者に與ふ 藤井 眞澄 ・〇二
- ▲小學教員に與ふ 中曾根源和 ・〇二

無產社パンフレット

- ▲社會主義大意 堺 利彥 ・一〇
- ▲資本と勞働 堺 利彥 ・一〇
- ▲價値價格利潤(近刊) 堺 利彥 ・一〇

スヽメ・リーフレット

1 **小作人の立場**

2 **無產階級の政治運動**

3 **無產青年運動**

1は五月號に 2は六月號に 3は本號に 何れも本誌の四頁分に載せたものを、そのまゝ獨立のリーフレットとした。三百部、五百部とか言ふ注文の續々來るのは、安いセイでもあらうが、蒞更ら下らんものでないやうだ。配布用に使つて貰ひたい爲め、多數の注文に對しては加速度的に割引する。

【定價】 一部一錢・十部七錢・百部五十錢・三百部一圓廿錢

水曜會パンフレット

- ▲牙を拔かれた狼 山川 菊榮 ・一〇
- ▲怠惰者と社會主義 堺 利彥 ・一〇
- ▲タンクの水 山川 均 ・一〇
- ▲勞農ロシヤ問答 橫田 千之 ・一〇
- ▲勞農ロシアの農業制度 山川 菊榮 ・一五
- ▲私は何故社會主義者になつたか 西 雅雄 ・一〇
- ▲社會主義の進化 山川 菊榮 ・一五
- ▲リープクネヒト 山川 菊榮 ・一五
- ▲メーデー(勞働祭) 山川 菊榮 ・一〇
- ▲二人の革命家と二人の勞働者 山川 菊榮 ・一〇

文化學會パンフレット

- ▲社會主義の世になつたら 堺 利彥 ・四〇
- ▲ギルド社會主義 森戶 辰男 ・四〇
- ▲社會主義とは何ぞや 島中 雄三 ・四〇
- ▲レニンの社會學說 淺野 研眞 ・四〇
- ▲直接行動論 島中 雄三 ・四〇

科學思想叢書

- 社會主義は危險思想にあらず 安部 磯雄
- 社會改造の諸思想 北澤新次郎
- 民族と階級 大山 郁夫
- 農村問題 佐野 學
- プロレタリア經濟學 山川均 田所照明

定價各冊七十錢

露西亞の政治組織

岡陽之助

一

吾等が一度び『國民』などゝいふ、曖昧な考へ方から一歩を進めて、そこに、峻別されたる二大階級の事實に突き當り、而も、吾等無產階級が一切の支配權を剝奪され、只、被搾取群としてのみの存在であるのを意識した時、もはや、吾等には事實『國家』はないのだ。而して所謂『國家』は、有產階級の搾取委員會として、吾等の眼に映ずるに過ぎぬ。

此の見地に立てば、全世界もまた自から變らざるを得ない。即ち、國家的勢力範圍を染め別けた在來の、文部省製の地圖は滑稽と憎惡と以上に何の意味もない。吾等の眼中には、只全世界を一線で橫斷した白赤の上下二面のみが殘る。而して、その劃線の絕え間なき動き方を凝視して吾等は一喜一憂を禁じ得ないのである。

二

かくて『國家』のない吾等無產階級は、新たにインタナショナルを得、そこに多くの同胞を見出すことが出來た。されば若し、敵と味方を劃する一線の一角たりとも切り崩し、敵陣を占領した吾等の仲間があつた時は、それこそ、吾が全線の勝利の一步であり、吾等の尊き前衛でなければならぬ。

北歐の吾等の同胞、露西亞の無產階級は今より六年前、此の尊むべき前衛の大役を、勇ましくも敢行したのである。

今、日本では、露西亞承認の問題が、あらゆる立場、あらゆる階級から論議されてゐる。就中、吾等無產階級にとつては、一種の痛快味を含む大いなる意義が感ぜられねばなるまい。

吾等はこの際、吾等の同胞が北歐の地に、新しく打ち建てた無產階級國家の政治組織の大體でも、特に知つて置きたい樣な氣がする。

三

一九一七年十二月、露西亞革命は「一切の權力をソビエットに」歸せしめ、無產階級の獨裁政治を斷行した。無產階級獨裁は資本主義から共產主義の社會へ推移する、その過渡期に於いて必然に現れる現象である。露西亞が今正にその時期に在るのだ。ソビエットの組織は即ち、露西亞の政治組織を意味するものである。

ソビエットは決して露西亞共產黨の特產物ではない。革命的暴動によつて自然に生れたもので、之に類似の組織が曾て諸國の無產階級の中に出來てゐた。併し、他の連中が、例へばメンセビーキがソビエットを一時的な委員會若しくは、產業組合位にしか考へてゐなかつた時に、ひとり露國共產黨は、それに歷史的使命を有たせ「一切の權力をソビエットへ」と叫んで、ソビエットを以つて無產階級國家の政治形式とした。

吾等の學ぶべき重大な意義は當に此の一點に懸つてゐる。

四

ソビエットは、各村落、各都市の、農民と勞働者と兵士から選擧された代議員に依つて夫々の地方に造られてゐる。大きな都會になると、各區にソビエットが造られる。市町村を包括した大きなソビエットもある。かくソビエットは各地に造られるものであるが、それらの代表が集つたものが全露ソビエット大會である。これは露西亞無產階級國家の最高權力を代表するものである。全露ソビエット大會は更に中央執行委員會を選擧する。中央執行委員は更に、人民委員評議會を選擧する。人民委員評議會は所謂「政府」に當るものである。

此の他にソビエットの地方的大會の種類が(一)郡大會、(二)縣大會、(三)省大會、(四)州大會の四つある。此の中に二系統があり、その一つは、郡、縣の大會を經て州大會に至る。この系統は、直接全露大會へ繫かない。今一つの系統は、郡大會から省大會を選擧し、省大會から全露大會へ代表を送るのである。但し省大會は、都市ソビエットからも代表を送る。

全露ソビエット大會は、都市ソビエットの直接の代表者と、省大會の代表者とから成立つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のである。

五

全露ソビエット大會は「露西亞ソビエット共和國の最高力である」一年に二回開催される。中央執行委員會は、こゝより選擧される。

中央執行委員會は、委員二百名以下を以つて成る立法、行政及び管理の最高機關である。憲法に依れば、

「中央執行委員會は、勞農政府と其一切の機關を指揮し、立法上、行政上の行動を調整し、ソビエット憲法並びに全露大會及び中央政治機關より發した布告の適用を監督する。」

「中央執行委員會は、人民委員評議會又は其他の部門から提出する布告の草案、又は其他の提案を審議批准する。中央執行委員會はまた、自己の布告及び規則を發布する。

「中央執行委員會は、露西亞社會主義聯邦ソビエット共和國の一般事務に當らしめる爲め、人民委員評議會を任命する。中央執行委員會はまた、人民委員議會の各部門の事務に當らしめる爲め人民委員會と名づける種々なる部門を任命する。」

人民委員評議會は、日本の內閣會議に當るものであるが、その布告命令は、中史執行委員會の議決に依らなければならぬ。

人民委員評議會は、議長外十八名の人民委員（コンミッサール）から成る。人民委員會は次の十八である。

（一）外務　（二）陸軍
（三）海軍　（四）內務
（五）司法　（六）勞働
（七）社會事業　（八）教育
（九）電信郵便　（一〇）民族
（一一）財政　（一二）交通
（一三）農業　（一四）商業
（一五）食糧　（一六）會計檢査
（一七）國民經濟　（一八）保健

六

最初に述べた如く無產階級國家の政治は、無產階級の獨裁である。ブルジョア階級に對しては勿論、其他一切の反動的勢力に對しては鐵の如き强制權力を用ひ、彼の常に再興の機會を窺つてゐるブルジョアに最後のトドメを刺さんとするのだ。されば、その政治組織なるソビエットの選擧は、全く純無產階級のみの普通選擧であつて、ブルジョアの手は全然之に觸れしめない事は勿論である。

選擧權被選擧權を剝奪された者は大體次の如きものだ。即ち他人を雇傭して食つてゐる者。商人、仲買人。坊主傳道師。それにもと警察の下廻りやスパイ等をやつた事のある者等である。

勞働者、農民、兵士及び社會の有用な仕事に從事してゐる者は男女の別なく全て選擧被選擧の權を有する事は謂ふ迄もない。都市に於いては各工塲が選擧の單位となり、農村では、純無產階級を代表する貧農委員會が農民の選擧資格の有無を決定する。要之、ソビエットの選擧は經濟生活の必要から生じ實生活上の單位によつて行はれる。彼等は日本の代議士の如く立身出世でも虛榮でもない。選擧者と生活を共にするは無論のこと、共に工塲でハンマを振ふ仲間である。共に田の中で馬を引く友達である。仕事をしながら生活の事を語り合ひ、それを代議員がソビエットへ持ち出すのだ。彼が若し選擧者の意志を代表せぬと認められた時は、何時でも解任が出來るのである。

社會葬に列して

高野松太郎

同じ道を辿りて
遂に斃れしか
彼れの好きけるリープクネヒトさ

×

棺內に齒をくいしばり
横はる汝が死顏の
今も眼に見ゆ

×

美しき汝が魂は
人々の胸に生きたり
安んじて逝け

×

社會葬
混み合ふ中を悠々と巡査のゆくが
憤ろしも

×

何がなし涙流れぬ
人々の弔歌をうたふ聲
聞き居しに

×

日本のリープクネヒトさ
讃へたる弔辭ありけり
襟を正しつ

×

弔辭讀む人に
送れる一齊の拍手を
あわれいづこにか聞く

×

白き衣きてつゝましう椅子によろ
汝が美し妻の
涙を見ずや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級と國家權力

藤岡淳吉

一

吾々お互ひは、極めて頭の幼稚な少學時代から、常に國家のために盡さねばならぬことを教えられて來た。然るに、國家とは何ぞや、即ち國家そのものゝ本質については未だ何等教えられる所がない。

で、僕は今こゝに謂ゆる國家なるものの大體の說明を試みてみる。

吾々が今日國家と稱するものゝ中には、治者と被治者、壓伏者と被壓伏者、搾取者と被搾取者といふが如く、大たいに於いて二大階級に分裂してゐる。そして、其の階級的分裂の根本原因を爲すものは、言ふまでもなく私有財產制度である。然かり此の私有財產制度あるがために財產のある家に生れたる者は、謂ゆる有產階級として有らゆる社會の生產機關を壟斷し、一切の生產利得を橫奪して社會の上層に位ひし、財產なき家に生れたる者は、自己の勞働能力以外に何物をも所有せざるが故に、其の生活資料を確保せんと欲すれば、餘儀なく有產階級の下に行つて其の勞働力を賣らざれば得ざる事となる。從つて、其の地位は極めて貧弱にして、常に其の生活は不安たるを免れない。

二

試みに、吾々無產階級の生活狀態を一瞥せんか。

都會に於ける吾々勞働者にとつては、一日たりとも其の勞働力を賣つて、是れが代償たる賃銀を貰ふに非らざれば生存する事能はざる狀態にある。然るに斯くの如く賃銀を貰つて勞働力を賣ることは、畢竟、買手たる有產階級に搾取されるを意味する。と云ふのは、有產階級にとつては、與へたる賃銀以上の物を生產さすことに依つてのみ、始めて是れが効果を納め目的を遂するからである。

故にマルクスの餘剩價値發生の原因論なんて、むづかしい理屈を持ち出すまでもなく、吾々が搾取されてゐるのは明白な事實だ。

又農村に於ける小作人にしたつて其の通り、彼等が年中汗水たらして產出したる富の殆んど全部を、土地の所有者たる地主に納め、僅かに其の殘部を以つて飢渴を免れつゝ慘めな生活を營んでゐるが如き、正に是れ明白な被掠奪、被搾取ではないか。

斯くの如き事實の存在する限り、吾々無產階級の生活が常に不安にして慘めたるは當然の結果であつて、今更ら喋々辯じ立てる迄もない。

此の搾取を中心とする近世國家なるものが、經濟的に支配する階級の國家となるは蓋し又た當然であつて、現代資本主義社會に於ける、一切の國家權力が彼等有產階級の手中に把握されるに至つたは當然の結果だ。

されば、今日吾々が國家と稱するものは、畢竟するに彼等有

レーニンが鍛冶屋になつた話

話はかうである。

十一月革命紀念日の前、エカテリノスラフのレシアペル工場の職工達が集つて「紀念祭イーヴ」を開いた。この偉大な日を祝はうといふのでレシアペル工場といふ名を「ウ、イ、レーニン」と改めることになつた。そしてイリッチを工場の名簿の中の第一職工にした。(イリッチといふのは勞働者仲間でのレーニンの愛稱である。そして近親の間で用ひられる父稱である)

そこで委員は言明した。「本工場職工、同志レーニンはまさに試驗に合格して職業資格を獲得した。」

しかしこゝでもまた議論が起つた。

「どういふ仕事にしようか。」

「俺達の仲間に入つた貰はう。」旋盤工が叫んだ。

「いゝや、俺達の方だ。」鑄型屋が唸り出した。

「俺達の方にきまつてるんだっ」模型屋が頑張つた。

議長はもうどうしていゝか分らない。

この時、隅つこの方から年とつた鍛冶屋が立ち上つた。

「わしにしやべらせて吳れ。」

皆靜になつた。

「わしの考へではかうなんだ。わがイリッチは鑄型師でもなければ、模型屋でもなければ、また確かに旋盤工でもない。鍛冶屋なんだ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産階級の國家であつて、吾々無産階級にとつては、寧ろ其の生活を壓迫し、奪掠し、常に威嚇しつゝある抑壓機關である事は寸毫も疑ふ餘地がない。

三

エンゲルスは、其の著「國家起源論」に於いて、「一切の國家權力は、原則として最も力強く經濟的に支配する階級に獲得されるものであつて、其の階級に國家權力あるに依つて更らに政治的支配階級となり、被壓伏階級を押え附け、是れを掠奪するために新たなる手段を獲得するものである」と言うてゐるが、正に近世國家の成立は、其の發生の起原が證明して餘りあるが如く、種族による種族の征服によつて始まつてゐる。

即ち、嘗て其の昔、吾々の先祖は極めて安樂な、自由の平等な共有的共産的自足自活を營んでゐたものだつた。然るに、何時の頃やら人口の增加するに從つて、原始の血族的な家族的な共産體が漸次擴大されて、村落的共産體となり、部落的共産體となつて、遂には四方八方に移住して種族を構成し、やがては種族と種族との分裂となつて血族的種族が變じて地域的種族となり、そして是等種族間に蓄積せられた富は、やがて是れを中心として猛烈な闘爭が開始されるに至つた。そして優れたる武器と、戰略的才能とを持つてゐた種族とか、或は經濟的に有利な環境にあつた種族が勝利を占めて征服者となるに至つた。そして征服されたる種族の一團は男も女も共に奴隷として自己の生存以上の産出した物を悉く奪はれた。

この時代から人間による人間の搾取が始まつた。人類の痛ましい歴史が始まつた。即ち壓制者が被壓制者を壓伏するが爲めの機關たる、近世國家が成立するに至つたのだ。蓋し、既に搾取の事實が發生するに至れば、其所には必然、經濟的には支配する階級と支配される階級との階級的對立を見るに至り、經濟的に支配する階級が、更らに自己の階級的存在を維持せんが爲めに、絶えず被搾取階級を押え附け、絞り取らんとする政治的支配權すらも獲得せざれば得ざる事となる。殊に是れが搾取の結果たる財産の蓄積は、やがて是れを脅さんとする無數の隱れたる敵に對し、防衛保護を以つて任とする行政機關の必要を見るに至つた。是れ即ち近世國家の發生せる根本原因だ。

斯くて、其の後に於ける一切の國家權力は、社會の搾取關係の變化するに從つて變化形成され來つた。即ち、中世に於ける封建國家の如き現代の資本主義國家の如き、すべて是れ搾取關係の變化發達するに從つて變化形成されしものに外ならない。

而も、是等過去一切の搾取關係——マルクスは是れを生産關係と言つてゐるが、既に歴史が始まつて以來、一切の生産機關が社會の經濟的支配階級に剝奪せられ、被支配階級を搾取する機關に利用されてゐたのだから搾取關係と生産關係は實質上同一の謂に外ならない——は、其の發達の或る段階に至ると、從來の搾取關係と矛盾する事となつて、更に新たなる搾取關係を生むに至るといふ具合に變化形成されて行くものである。

（未完）

——一寸待つて呉れ——靜かに。あれが鍛冶屋だといふのは譯があるんだ。あれは資本主義の鎖をぶち切るハンマーをしつかり持つてゐるのだ。」

「うまいぞ、鍛冶屋、議論はもう消えてしまつた。」

そこで一同決議にうつゝた。

「我々は歡びと誇りを以て、親愛なる頭、同志ウ、イ、レーニンを一番職工として仲間に迎へる。而して、全世界の勞働階級の安寧を鍛へ出す鍛冶屋の務を委せる。同志レーニンの賃銀は最上勞働者の割にする、」

次にその賃銀の處分の議論が起つた。

「イリツチに送らう。彼がうまくやるだらう。」と一人が言つた。

「イリツチはそれを工業學校の基金にすることに贊成するに違ひない。」と他の者が言ふ。

材木勞働者の組合代表が發言權を得た。

「無教育を滅せ！それはイリツチの金言葉だ。彼の賃銀は教育費に當てたらどうだ。」

そこで決議が行はれた。

「彼の賃銀は次の如く割當てらるべし。五〇パーセントは無教育一掃のために、二五パーセントは工場勞働者の兒童教育のために、殘りの二五パーセントは組合より高等技術學校へ學生を送る基金として。」

（ザ、コムミユンストより）

ＫＴ譯

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

プロの眼

經驗の一斷面

一

昨年の九月に發會した信州自由青年聯盟が、豫想外の勢力を獲得したと云ふことは、一は信州の文化程度が比較的高度であつたこともたしかに其の一つであるが、他の更に重要な一面は、其の運動の勃興が飽くまで自然な潮流であつたと云ふことだ。

封建社會と共産社會との中間に、ブルジョア、デモクラシーの一時期があるやうに（勿論それは國狀に依つてそれぞれの相違はあるが）下伊那の青年運動も官製青年會から、青年それ自身の自主的青年會の確立と云ふ形體をとつて、次に新たに生れたものが、階級鬪爭の一線に立たうとする無産青年運動の勃興であつたのだ。

僕が此の運動の經過をもつて飽くまで自然的であつたと云ふことは、それがブルジョア自由主義の一時期を通過したと云ふことではない。その要點は他にある何故なら如上の形體は、各地の形勢に依つてそれぞれの相違があり、既に壓制的な官製青年團そのものの中から、無産青年運動の勃興を示してゐるからだ。つまり官製青年團と、無産青年團との中間の自由主義的な一時期を經過せず直接的に抑壓そのものの中から、無産青年運動が起りつゝあるからだ。

二

其處で僕が言ひたい重要な一面と云ふのは、當時官製青年團を破壞した後の下伊那の自由主義的青年團が、既に發頽的となり、一般青年大衆が新たな進路を求めて彷徨してゐた時、眼覺めたる青年がそれに進路を示した方法のよろしきを得たと云ふことだ。

信州の青年運動の發展は、運動の端を發した其の日まで、それ等の無産青年が、一般大多數の青年から、同じ自分等の同僚であると信任され『過激派』とにらまれてゐなかつたからだ。

自由主義に反抗して起つた無産青年の運動が、一般青年大衆に、それが社會主義青年の行爲とは映じなかつたであらうそれは昨日まで自分達と交通してゐた同僚の飽くまで自然的な反抗として映じたであらう。そして多數の青年が此の『同僚』の運動に參加して來た。

蓋し、傳統的觀念の強く支配する地方にあつては、既に地方人から、人種の異つた人間の如く思はれてゐる人々に依つては運動の進展が遲い。

要するにさうした場合その人の運動は官製青年團內部の青年をさらへてそれを敎育し訓練するにある、然してその無名の青年に依つてあげられた運動ののろしこそ、既成青年會に多大な反響を呼び起すであらう。これは大衆運動を前提としての感想である。要するに青年運動を限られた部分から大衆運動たらしめんとする場合、その力は無名の青年の中に期待することが出來る。（信州、羽生三七）

營舍より

福田兄！

長々御無沙汰致しました。熱い眞赤な御心にお禮申上げます。

今日も日曜で外出した。そして途本の家に行つたらこの家にも黑襟の兵隊さんが來たさうだ。そしてお母さんと二人暮しの淋しい私の友の家を色々と嚇したさうだ。

それで今日限り手紙の取次はお斷りされた。平壤は廣いが私の外出する時間は少ないのだから同志もまだ見つけ出せないやつと見つけたと思ふとそれは鮮人で言葉の通りが惡いので困つてゐる。

營舍の塵を吸ふ事も既に半年を經た、兵隊さんの多くは大抵私と仲よしになつたが將校とは仲が惡い『お前は軍規の紊亂者だとう云ふ精神ではいかん』と言はれるが現行犯が無いものだから將校さん方も手のつけ樣がない。私のモットーは『軍隊は俺達の爲なんだ。軍閥や工場主や地主や金持つ爲の軍隊ではないんだ。それだから奴等の思ふ通りにならなくとも俺等が都合のよいやうにすればよいのだ』と云ふ事にしてゐる。そして皆の同僚にもこの精神の確守を勸めてゐる。

朝鮮は暑い、室中は百二三十度もあるんだ。それはさうとして東京では又やられたさうだね、それに次いで高尾兄も第一線に倒れたとの新聞を見た。俺はその度熱い血汐をドキドキと湧かされる、倒れた高尾兄の努力に感激する事はやめて彼の復仇をしなくてはならないんだ。

こゝの營舍ではもう社會主義やコンミニズムを惡者だと云はなくなつた、軍閥共がいくらさうぢやないと云つても言ふ事をきかなくなつたから痛快だ。

營舍では自由は尊重されては勿論ないが食ふには心配がないから工場や街頭で戰ふより都合がよいと云ふべきである。

私は日每夜每兄等の健鬪を夢見てゐる。而して私が食ふに困らずにかうやつてゐる事が兄等にすまなく感ずる。その上時々は將校の云ふ事をきいて演習にも行かなくてはならぬからだ。

福田兄！　御健鬪を祈る。

（朝鮮にて　フミヨ生）

勞働運動の鼻つまみ者

大杉榮歸へる

國際的には文部省內務省の社會局と協同戰線を張り亭主となつてはブチブルの新しき女伊藤野枝に嚙りついて、萬國勞働階級戰線一角の、現實の勝利を惡口し、國內的には個人の氣儘な利己心を自由と穿き違へた寄せ集めの屑と共に自由聯合主義とぬかすガラクタ反革命家文藝上のデカタニスト勞働階級の鼻つまみ者大杉榮が歸つて來た。遊蕩小說家長田幹彥が京都の祇園に原稿の種とりに遊びに行くやうに同じ思ひの小說稼業此度びフランスに小便しに行つて歸つて來た例に依つて新聞記者は例の低能振りを發揮して、天下の大事件の如くに報道して勞働階級の笑を買つた。オイ新聞記者

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

太陽が中天に釘づけになつて、ニツチもサツチも動かないなら別さして、四五年前なら兎も角、柳の下にいつも鰌は居ないよ。此の間の野田町の俺等同盟の關東大會で、集つた俺達の間に次の樣な會話があつた。

勞働者甲『大杉が歸つて來ましたれえ、あなたはど、思ひます』

勞働者乙『可愛想でならないれえ、あいつの智識内容が四五年前にや兎も角俣等も崇拜したもんだがナ』

勞働者丙『所が彼も内心自分の誤謬に氣がついてゐるやうだ。が、彼の事だから急に改めたら堺山川に降服したやうになるからそれで息抜きにフランスへ行つたんださうだよ』

勞働者乙『兎に角彼が悔悟一番して、男らしい復活を希望するれ。彼も働ける男だよ、○○事件の後を受けてあの暗黑時代を押し通して來たのだから』

それから一團は堪えられぬ呪ひの言葉の下から、彼の勇敢な活動の一面は偉いさ言つてほめたり罵倒したりして、興奮さ呪ひの度を高めて行つた。要するに彼は初期に於て漠然たる反抗意識を燃つた。

然し後半の彼は『あゝ生れざりせば』の男になり下つた。そして、ブルジョアの抵抗さ、新社會の建設の難事業に苦しむロシアの惡口を叩きくさつた『あの野郎殺してやりたくなるよ』さ言つてゐるうちに、午後の會議の鈴が鳴つて皆は定めの席に歸りだした。

大杉榮よ、あの日お前の今では義理の乾兒近藤憲二が檢束されてこれを聞かなかつたのは、惜しい事をしたよ。

榮大杉すつかりお前を見限つた俺は何んでらないがお前に散々騙まれ欺られ荒されたた勞働階級もまだお前にこれだけの愛着を持つてゐるよ。我儘な貴樣も少しは考へろ、行け和製馬鹿人大杉榮、而して迷死せよ。（野田町　菅原生）

法廷戰

新潟の小作爭議の殆んど總てが法廷戰に移つてゐる。夫れだけ僕には面白いが土地に確乎した團結の無いのが心細い。（於長野　布施生）

反動の黑手

春が去り夏が來た、然し俺達は貧乏で倚れだ。高塀のド壁突の陸線野田闘の兄弟姉妹は依然蹂躪され虐げられてゐる事は同じだ。

樂しかるべき月雪花も俺達には苦痛の種だ。俺はブル擁護の爲に築かれた法律だから、俺達は惡まれてゐないのは知つてゐるが今後は愈々入獄しなければならぬしかし入獄するさしてもこゝは寒くて嫌だから網走にでも行かうかさ思つてゐる。

兎に角今のうちに温泉へでも行つて出獄後の方針を立てやうさ思つてゐる。

反動の黑手は暴威を振つて俺達の行手を塞がうさしてゐる。この東北の俺達もウツカリしてゐられなくなつた。國粹會、國風會さか云ふ連中は支部とか支局さかこしらへやうと虎視眈々さしてゐる。しかし俺達は飽く迄やる。そして更にブルの牙城に突進して總てを破壞するのだ。（岩手縣　瀬川生）

獄窓より

一の時代を支配する思想は常に只支配せる階級の思想であつた。

君よ、マルクスは猶太の特殊部落民である。彼のこの見解は正確さ私は斷定する。支配階級による思想は凡て彼等に都合にて最も適應せる配列の下に社會組織が決定される。彼等が只社會的に優等な位置を定めてゐる單なる一理由に過ぎない大學教授さ裁判所さ警察署とは最も安價な給料にて日夜彼等の安全を保護する忠實な手代である。俺達は力の主力が人民にあることを知つてゐる、彼等は道德さ政治さ宗敎さ法律を曲げる事によつて人民を恐れしめ而して只屈服せしめて行けるのだ。

彼等の破産は近々にある。然し目下は店員が可成さかんに商賣されてゐる彼等の最も忠良な手代は主人に對する忠信振りを示して去る六月七日鞍手郡中村に於ける部落民頭大等に對する過去事件を利用して此の問題に參加せる全九州水平社の有力な闘士を全部投獄した。然も高等學校の學生であるK君まで熱り病弱な彼まで同時に投獄した。俺達はイスカリオテのユダだ。此の世に生れなかつたなら幸福であつた。遠き昔より俺達に加へた慘虐俺達が男泣きに泣いて今日まで忍んで來た。理由が全く暗黑化した祖先代々さの恨みに對して俺達は決然全進軍を開始する而して共同戰線に突進する日を見るであらう。俺は四月末に來た。然し五月一日に全九州水平社を組織した。早や大少四十二の水平社が此の地に組織された。虐げられた二十年此の俺達を日々惡化か赤化かなさしめて呉れるのは彼等主人さ其の番犬たる手代の木葉連だ。（福岡縣飯塚刑務所にて　近藤光）

ソビエツトとエピソード

今日職員室で校長が『ロシアではソビエツトとか何んとか言つてゐるが親の肉を子が食つてるさうだ』さ言ふので『ソビエツトとは何の事でせう』と私がきくと、校長殿の曰く『うん、ソビエツトは逸話と云ふ事さ。又挿話と云つてもいゝだらう』は近頃傑作の『ソビエツト』だ！。（山形．C）

簡閲點呼場から

罷要づきで點呼に行つた。一人々々執行官の前へ進み出て敬禮をして『補充兵歩兵何某』と怒鳴ればそれで資料といふものが濟むのだが、俺の番が來たから低く蚊の鳴くやうに言つたら『下腹に力を入れろ』と來た。で、フンと笑つて又病人のやうにいと細々と言つた。すると執行官の野郎『病氣か』と言ふので『さうだ』と答へたら、それきりで『よし！』と云つて今度は學科だ。『我々軍人の守るべき道は何んであるか……エ……松田ッ』と云ふから『プロレタリア解放の一手段として先づ××制度の廢止だ』と腹の底から怒鳴つたら執行官やその團員共が暫く俺の顏を見てゐたがやがて『君はもうよし』と云つたので早速歸つて來た。（仙臺　松田生）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

思想界の惡魔、勞働者の敵

―無政府主義攻擊の火蓋―

福田狂二

吾人はここに無政府主義を點検する爲め、其信條させるクロポトキンの『相互扶助論』、『田園、工場、仕事場』、『パンの略取』の三書を一瞥し、その根本原理をして次の三つに分つ。

一、人類は相互扶助の本能が與へられて居る、故に自由合意の社會生活を營むことが出來る。

二、如何なる內容、如何なる形式を問はず、法律、命令、政府、國家を排斥する。

三、工場生活は、人間性を殺す故に排斥する。

以上の三つが吾人の信捧する社會主義の原理と異つて居つて、彼等無政府主義者は、是を信じて疑はず、是を宣傳して勞働者を迷はしてゐる。それに依つて社會革命を妨害し、無產階級の解放を遲滯せしめる。吾人は先づ無政府主義を觀念の上に築かれたる空想と遊戯と見る。

一

クロポトキンの相互扶助論は生物學進化論への一大貢献であつたが、相互扶助の本能を力說する斗りで、相互闘爭の本能は全く度外した。動物には相互扶助即ち和睦協同を欲する本能と生存競爭即ち闘爭優越を欲する本能とが互に兩立して働いて居る。

クロポトキンは唯相互扶助の事實のみを見て、相互闘爭の進化論上見落すべからざる大事實を無視してゐる。若し動物に闘爭優越の本能が無いものであつたならば、無政府主義は數千年前に實現し、クロポトキン自身も是を主張する必要がなかつた。

クルポトキンの唱導する無政府主義は是即ち闘爭優越の本能の表示ではあるまいか。吾人は國家主義者の如く進化は競爭に依てのみ行はるゝとは思はぬ。競爭と相互扶助とが交錯して行くと云ふ事實を目擊して居るのである。

二

社會上に於ける實際の權力を否定する事が無政府主義の根本原理である。或る者は政治者權力を否定すると云ふが、政治的權力と其他の權力とは確然に區別する事が出來ない。如何なる權力もそこに政治的色彩或は要素が入つてゐる。故に無政府主義は嚴密に云ふ時には、一切の支配的權力を否定する事にならねばならぬ。斯の如き權力の否定即ち無政府主義思想が如何にして生せしか、第一は權力が極端に個人生活を壓迫したことである。第二は個人の自由に關する思想である。この思想が、一方ではロシアに起り、他の一方ではルッソーやモンテスキー、スチルネルに依つて唱導せられた。彼等は只個人を尊重するとか人格を認めるだけの個人主義者である。個人は絕對で自由であつて何人もこれを支配し拘束する權利が無いと言つて居る。近世無政府主義はこの個人主義

アナキストへ

竹下信一

一

僕等は、アナキズムは、眞面目な運動から次第にはれのけらるべき思想だと信じてゐる。

そしてそれはもう大分に、ダダッ兒や與太や文士の落武者のオモチャ化して來かけた事を認めてゐる。それを今更引つぱり出して、眞劍な話相手にするのも大人氣ない事ではある。

が併し、近頃また觀念の『自由』を振りかざして、反動のチョッカイをかけ出したといふ話を聞いた。自由とかエゴなどゝ云ふ言葉位ゐまた口ざわりの好いものはない。そして、彼等は今日只今から自由でなくちや嫌なのだ。無產階級全體が、自由を完全に獲得するまで待つちや居れない。手段も過程もあるもんか、自由に憧がれる此のエゴをどうして吳れるんだいとさわめく。たつた今、自由をよこせ。目の前へ自由を、耳をそろへて、サーならべろ！と腕をまくる。ちよつと聞くと、頗る威勢がいゝ。如何にも革命家らしい。成る程、こんなオドシ文句で、敵が屁コタレて吳れゝば、事は甚だ簡單だ。露西亞は、新經濟政策などやる必要がない。恐らく十一月七日の次の日から天國が出來上つてゐたらう。

そして、大工場や大規模の機械などは資本主義の賜物だからブチ壞して、田を作れ！その代りに「自由」がある。石炭が足りなければ、「自由」で掘り出せばいゝ！汽車もレールも「自由」で造ればいゝ！家屋も衣服も「自由」があるから、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に立脚して居る。バクーニンにしろクロポトキンにせよ、この個人主義者と殆ど共通した思想を持つて居る。即ち現代社會に疾苦の絶えざるは社會組織が人爲的な爲である。この人爲を捨て自然の大則に順應した新社會を作れ、然らばあらゆる疾苦は除かるゝであらう。その自然の大則は認識即ち理性の働きに依る外は無い。更に無政府主義者は「道理以來何等の權力を認めない、人は只理性の導く所に從ひ、道理の命ずる儘にして行けばよい。然らば社會は自然に合理的に善美なものになつて行く」と云ふ。彼等は社會革命は直に無政府主義が造作なく行はれると云つて居る。無政府主義の學說は斯の如き哲學の下に法律や政府や國家やを排斥して居る。彼等は資本主義の機關としての法律、政治、國家を排斥するに止らず、社會主義的機關としての法律、政治、國家をも排斥して居る。社會主義の制度に於ては掠奪や搾取の營利經濟が撤回され、商品生産が廢止され勞働を商品とする事が一切起り得ないのである。この時に於ける國家、法律、政府は只社會組織の秩序を維持すべく全人類が全人類を支配すると云ふ形式である。決して資本主義社會に行はるゝが如き、小數階級の自由を拘束して搾取の狀態を維持せんとする拘束ではない。然るに無政府主義者は是にも反對してゐる。勞農露國の獨裁政治は勞働階級の獨裁政治である。無政府主義者はこれに反對してゐるが、吾人は勞働階級の獨裁は、結局全人類自身が全人類を支配することであると確信してゐる。これに反對する無府主義者は勞働階級の敵であつて、又全人類の敵である。彼等は只國家とか政府とか云ふ名稱を感情的に排斥するのである。苟も勞働大衆を背景とする無政府主義が勞働階級の獨裁を排斥すると云ふ大なる矛盾には氣が付かぬ。社會主義制度に於ける政府や法律や組合は、全人類が安樂なる組織を運轉すべく設けられたる契約、申合せ、世話である。無政府主義者は絶對の自由絶對の平等に憧憬して總ての組織を否定するのは、人類の生物學的、社會學的又歴史的、政治的、經濟的條件に無智なる結果である。

三

社會主義は、現時の資本家が自己の利益より打算して利潤なき時は人が餓えやうが凍えやうが、かまはぬと云ふ間違つた資本制度を破壞し、大規模な生産をなし、大量的な富を作らねばならぬと主張する。而もそれは大規模の生産に依つてのみ始めて可能であるが、産業の集中と統一とは支配關係なくしては實現しない。然るにクロポトキンは工場生活は人間性を殺すから排斥する。工場無くして大規模な生産は不可能となり富裕な物資は得られぬ事を無視してゐる。よし工場が人間性を殺す程の不快な事實があつても社會主義制度に於ては生産、分配消費が統一され、勞働時間がズット短縮せられるから、工場生活が不愉快であらうとも忍ぶ事となる。少量の苦痛を拂つて多量の安樂が得られるのであるから、各人が好んでこの勞働に從事するであらう。勞働は元來苦痛なものであつて遊戯ではない。この小時間の苦痛に耐ゆると云ふ事は社會に對する貢獻である。

それで這り出せばいゝぢやないか！

と、アナキズムに依れば、自由の天國は、三平吉の童話の如く立所に出來上つた事であらうものを、思へば露西亞の無産階級は、幸の限りであつた！「自由」は寛社瓶の如く重寶である。これを有つてゐるのは、ブルジョア、自由主義者とアナキストばかりである。されば彼等は、露西亞革命が勃發し、ボルセビーキが、無産階級國家を建てゝ、獨裁政治を布くや、くだんの瓶をふりかざして、自由の敵だと叫び出したのである。

二

けれども、アナキストよ、露西亞は産業の未發達の國なのだ。資源を有しながら小産業組識の悲しさに、それをどうする事も出來ない。高度の生産力を得るには大規模に組織されたる生産機關が必要なのだ。大規模に組織されたる生産機關は即ち資本主義の生産機關に他ならぬ、けれども考へねばならぬ事は、資本主義の生産組織には、二方面がある事だ。一面は搾取である。これは飽まで破壞せねばならぬ。他の一面は生産力である。最高の生産力である。何故にこれを否定し破壞する必要があるのか。

斷じてない。何故ならば社會主義の生産組織は、當然此の發達せる資本主義の生産力を繼承すべきものであるからだ。露西亞革命は未發達の生産組織の時代に起つた。故に彼等は、資本主義の搾取方面を破壞するためには獨裁政治を以つてし、一方やがて繼承せねばならぬ生産方面には新經濟政策を行つて、その發達を促進させてゐるのだ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國定教科書の批評

横田忠夫

一、身體

尋常小學修身書卷四　第十二

『すべて身體を丈夫にするには姿勢に氣をつけ、運動を怠らず、着物は清潔にして、厚着やうす着にすぎないやうにして、ねむりと食事はきそく正しくしなければなりません。又からだをきたなくしておくと病氣が起り易く、うす暗いところで物を見ると目を痛めます』

プロレタリアも『うんどう』もやりたい、つまりベースボールもボートレースもやりたい。綺麗と迄ならずとも『さつぱりした着物も着』たい。夜も『よく眠り』たい。うまい食物も『規則正しく食ひ』たい。『體もきたなくして置きたくない』けれども其日々の生活さへやつと送つて行くプロレタリアにとつてそんな贅澤なことが出來やうか。運動する暇に新聞賣子や狀袋張りをしなくてはならず。何ケ月も洗はぬ着物を着て眞夜中でも車を引かなくてはならず、その日の賃錢五十錢で妻子や親達も養はなくてはならず。湯へ入る金も無い。文部省の先生、一體全體、私ら貧乏人はどうすればいゝんですか。

所が、こんなに迄プロに身體を丈夫にせよとブルの番頭先生共が強ひる下心を、あばいてみるとかうだ。

一、資本家に搾取されつゝも頑强に營々として瘦せて枯れて餓死する迄働く人間を養成したい。被搾取者の體が弱ければそれだけ資本家が搾取率を減少される。

二、資本家は外國に投資して猛烈に市場に商品を競爭する結果時々戰爭が起る、その時彼等は愛國心、大和魂を說法して頑强な死をも辭せざる無産者の青年を養成する。

結局體を丈夫にせよと云ふ有難い御敎訓には、こんな詐術がひそんでゐる。敎訓よりも、先づ空腹にはパンだ。

二、迷信におちいるな

同　第十七

『或る町に目をわづらつてゐる女がありました。迷信の深い人でかねて或る所のお水が目によいと云ふ事をきいてそれを貰つて來て用ひました。けれども病は日に重くなるばかりで何のしろしも見えませんでした。』

『或る日親類の人がみまひに來て無理に お醫者の所へつれて行つて、見て貰はせました。お醫者さんは診察をして、これは劇しいトラホームです。右の目は手おくれになつてゐるのでなほす事ができません。左の目はまだ見込がありますから手術をして見ませう。これも今少しおくれたら、手のつけやうもなかつたでせうと言ひました。その後手術をうけたおかげで左の目はやうやくなほりました。その女は自分のおろかなため、だうりに會はない事を信じて、まつたく盲にならうとしました。おそろしいのは迷信でございますとつれ〴〵人に話しました。』

我國の無産階級も多く迷信にかゝつてゐる事を覺らねばならぬ。曰く軍國主義、曰く我が帝國のために、曰く汎日本主義、曰く無抵抗主義、曰く無我愛等と。

無産青年は功名をなして史上に芳名を垂れたい、一躍して財産家になりたいと云ふ『進取の氣象』を以て何か事業をやり出す。しかし見事に陋巷へルンペン、プロとして放り出される。そして人生を暗黒なものだと思ふ。しかしまた別の迷信にとりつかれる。空いた腹をもつて無抵抗、無我愛を思ふ、が搾取と虐遇は去らない。こゝに於て氣の弱い唯神主義者は『人生遂に如何』などゝ叫んで華嚴の瀧などから飛びこむ。

涙の洗禮をくゞつた青年は考へる、何故に自分等は苦しいか？と。そしてその結果遂に自分等の生活に光明と熱がないのは資本主義の爲だと氣がつく。さうして新に自由と平等の新社會の建設のために一切の迷信を脫して邁進する。

この一課は我々からうまく考へると誠に都合がよい。我々はこれを逆信して眞の人生を考へなくてはならぬ。文部省の先生共にやがて自分の繩で自分が首を縊る時代が近づいた。

三、國交

尋常小學讀本卷十二　第四課

『世界大戰後の終りに平和會議がパリー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で開かれた時、我が國もこれに參加しました。この會議の結果できまつたのは平和條約で將來世界の平和に大切な國際聯盟規約はこの條約の一部です。』

長い世界大戰爭が交戰各國の負債と民衆のパンの要求を叫ぶ聲のために、各國資本家は戰爭をする事に依つて大して各自に利益がないと氣づいて、そして一面今迄の搾取制度の堅い强い鐵鎖を破つて、無產者獨裁の旗幟を高く揚げた勞農ロシアの誕生に脅威をもつて、パリーで『これから資本家同志が仲よくしてお互に聯盟を作つて今迄のいたでを癒し、うんとプロレタリアを搾つてやらう』と云ふ會議が開かれた。

我が豐葦原瑞穗の國と云つて瑞穗がうね〳〵と黃金の波を打つてゐても、小作人は稗八分の飯を食つてゐなければならぬ我が大日本帝國も、英米の資本家國家の尻馬に乘つて靑島を略取したおかげで、その平和會議に折花攀柳の堂上公卿樣西園寺公爵を出席させ、戰敗國獨逸から幾分でも利權を奪取しやうとする光榮(?)を得た。

正直を無產階級に押賣りしてゐる文部省は大切なことをこの一課に落してゐる。即ち平和會議は世界を將來平和ならしむべき會議であつたに關らず、英對佛、英對米の資本主義が永久に調和しないと云ふこと、そしてその會議が各國各々その利權の幾分でも多からんと願つて、終始ごた〳〵したことを忘れてゐた。

尙一言つけ加ふるは高等師範學校あたりの先生共が、地方を廻つて敎員の講習會などをして步く場合「敎材の具體化、現實化」を主張してゐる。故にこの敎材も現實化するには「この平和條約も佛國のルール占領に依つて一片の反古となつた」と云ふ事に現實化、具體化する事だ。

これは餘談だが、敎材の現實化の好適例を筆者の友人の一小學校敎員が行つた。丁度校長から歷史年表を作成する事を仰つかつたので、まあ三韓征伐とか平安奠都とか書いて二五八六年の項、『ヨッフエ氏來朝』と書いたさうだ。しかしそれで校長から褒められたか叱られたかは遺憾乍ら聞かないでしまつた。

◆防援會におはいり下さい◆

諸君！私たちは諸君に訴へます。諸君の社會的自覺に訴へ階級的利害に訴へ、聰明なる理智に訴へ、更に銳敏なる良心と愛と、正義に訴へます。どうか階級戰に傷ついた不幸なる犧牲者のために、一身一家の私を忘れて社會の爲に戰つてゐる健氣なる鬪士のために、その家族のために、特に可憐なるその愛兒等のために來つて私共の事業を助けて下さい。一人でも多く此の會に加入し、もしくは此の會を贊助して、直接に間接に、我が勞働階級無產階級のために、及び來るべき新社會のために、應分の力を借し賜はらんことを切にお願ひいたします。

◆寄附は小額の五錢から＝

寄附は小額五錢から、一圓、二圓、十圓二十圓、百圓、二百圓……以上多ければ多いほど結構であります。

◆後と言はず今直ぐに＝

後と言はず今直ぐに、どうか諸君！そのポッケットの幾分を割いて、意義ある用途にその貨幣を向け給へ。

防援會會則

（目的）

一、本會は、勞働運動、小作運動、其他社會運動の犧牲者及び其家族を、防衞、救援、慰安するを以てその目的とす。

（構成）

一、本會を關東部、關西部に分ち、內部の各地に支部を設置す。

一、兩部の委員會を以て本部を構成す。

（會員、贊助員）

一、本會の趣旨を贊し十圓以上を寄附したる者を以て會員又は贊助員とす。但し會員たるためには場合により委員會の承認を經ることを要す。

一、會員は會費一ヶ年三圓を納付するを要す。

（委員及會計監督）

一、本會に若干名の委員を置き、本會の目的を達成するに必要なる諸般の事務を處理せしむ。

一、關東部、關西部に各二名の會計監督を置き、資金を保管せしむ。

（資金及び事業）

一、資金は主として會費及び寄附を以てし、其他出版、講演、音樂會、演劇會等有益なる事業の收益を以て之に充つ。

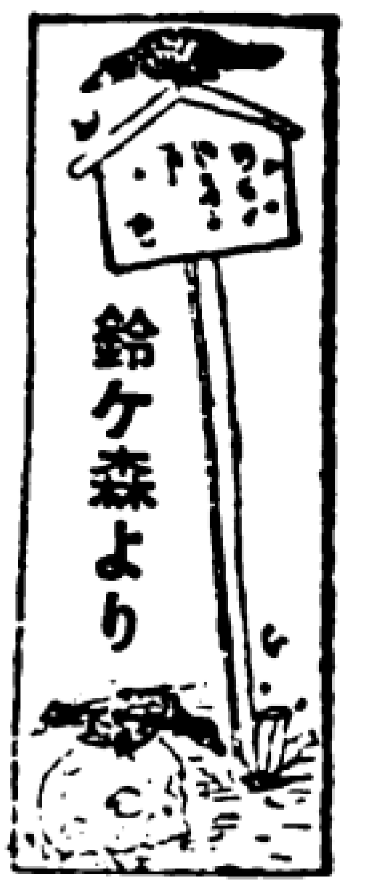
一、小額寄附募集のために防援券を發行す、

一、資金は防援に必要なる有らゆる事業に使用す。

東京市日本橋區蠣殼町三ノ八
自由法律相談所內
防援會假事務所

『進め』社は、防援會の美擧に、双手をあげて贊成し、入會申込みの取次をなすことになりました。どうぞ、金額の大小を問はず、切手（五厘）なり、本社の振替なりを使つてお申込み下さる事をお願ひします。匿名でも構はないが、住所は明記して下さい。振替一二八七四 進め社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



放言一束

私は彼に對して異常な敵意と輕蔑の激情を抑へる事が出來ない。彼は人間が冷酷だから、私は人間評價の基準を殉情的熱誠と感激に置く、同志の危難に會する や感激の光茫を放つて、死の闘爭場裡に突入すべきだ。是無くして何の同志ぞ、何の社會主義者ぞ。

思想的徹底議論の上下は歡迎するが彼の坐らぬ奴で歯の浮くやうな饒舌野郎に口の先で同志の御氣嫌を取結ぶ社會主義者御間を運動の樣に心得てゐる奴は、間違へても來るな。滿足には歸れないから。

○

ニヶ月計り關西の方に行つて居たが大阪、京都、神戸、名古屋と何處へ行つても同じ口調、同じ態度、同じ熱誠で腹の底から止むに止まれぬ力で奮闘して居る多數の兄弟勞働者を見て日本の國が好きになつた。(自由聯合論者が少數なのもその一つの原因だ) 尻からげで偉大な毛脛をむき出して、日本の革命が足早に歩み行くのを見る時いつが最後の障壁につき當る時だと問ひたくなる。

○

リープクネヒトが法廷に於ける自己辯護の一節に曰く『我が生涯の目的は獨逸帝國の顚覆にある。丁度三十五年前その反逆罪を辯護する爲に此の法廷に立つた我が父が遂に勝利者と爲せられた如くに我が代表する主義が愛國的尊敬すべき眞實なものとして認められる日の遠からざるを信ずる』と。

○

アナキストは思想を持てる憎むべき反動團體である。彼等はスパイに等しい。これと交通し談話する者一切出入を禁ず これを入口に張り出して置いたら、爾來凡そ一年彼等も感心に姿を見せなかつたが、計らずも七月八日アナキストの理論家枯木に草の生えたやうな、あごひげの男でいつも戀をして失戀計りしてゐる先生が迷子になつてやつて來た。當日は故高尾君の葬儀で殺生禁斷とあつて引見した。理論の缺を突いてやつたら閉口頓首して改心を誓つて去つたが、奴さん何をしてゐるやら。(竹井)

陸奥の彼方を望みて

▲草深い陸奥の涯の埋め石となり、朽て草となり、よし屍に苔蒸すともこの土地を去らじと迄思つた故鄕は遂にこの五尺の小軀を容るゝべく頑强に酷烈に拒絶した。『かくすればかくなる事と知りながら止むに止まれぬ大和魂』と封建制度への反逆者たる往年の國家主義者は悲叫したが、今プロレタリアの前衛はかくすればかくなると云ふ事は知りすぎる位知つてゐる。されどこの烈々たる正義の劍と眞理の盾とを兩手に持つた我等は『かくなる』位の事は何んだ。來れ迫害壓迫ー我等は赤旗を守るのだ。

月明かに水の流れ澄める夜、さらば暫し時故鄕を逃れんと約して多くの同志に革命歌を以て送り出されて、東京の南端區紅の夕陽の下、怒濤逆巻く鈴ケ森に身を投へて早一月、嬉しいのは何處へ行かうと相觸れ相接する同志の胸の血汐の熱い事である。

▲故鄕を捨て、年老ひし兩親を捨て、戰の巷に突進せるコスモポリタンの胸にも房總の山々靜に暮るゝ時、萬波激盪として梵鐘鳴り渡る時、思ひ出すは陸奥の彼方である。

獄舍のおもひで

稻田すみ子

黑馬車獄舍に送らるみちすがら
一途に思ひき復讐の數々

悲しきは忘れんとして忘れ得ず
悲慘極めし獄友の死を

出たらすぐ彼の意地惡き女看守の
處置如何にせん雜房の決議

如何にして誰に復讐するのかと
己に問ひし後のさびしさ

一體國のおきては誰がきめたのかと
問ひに苦しむ昔のわれかな

リープクネヒトは『階級戰場に於ては前衛が倒れても犧牲の人員は後から後からとされるであらう。賤兵一人殺したとて何するものぞ』と云つた。故鄕M市より來信に依れば、先日徵兵檢査の際『三大節とは如何』と云ふ司令官の質問に『三大フシとは國歌、軍歌、ラツパ節の三つの事だ』と云ふ答案があつた由、見よ後から後からと犧牲は補はれ戰は益々深刻化するぢやないか。俺を故鄕から追つたと云ふ事は何を齎したらう。只、今や一切の因緣を捨て、都會の只中で一兵卒として奮闘せると云ふ力と信念とを與へてくれただけだ。陸奥の彼方の青年諸君！都會のプロレタリアの多くは目醒めた。諸君もこの正義の戰に遲るゝ勿れ。立て、そして皚々たる高原、峨々たる山岳に飄々たる赤旗を立てよ。(須田)

同志の激勵に謝す

■去月來、地方の讀者諸君から俺に早稻田の騷動や、共產黨事件や、高尾事件に對して、何故沈默して居るかと催促されたが、俺に考ふる所あり。敢て起たず、敢て騷がず。俺の本領は、知る人ぞ知る。一度怒れば死して止まず。俺の志す所は社會革命である。豈賣名の爲めに動かんや。諸君の激勵を謝す。

■俺は嘗て巡査に毆られたことはない。又、看守に毆られたことはない。亦反動團體にも毆られたことはない。俺の心身は何者も犯す能はず。昨年二月、堺君を毆つた大和國士會とか稱する大塚某等十七名の蛆蟲が俺を暗殺せんとした時も一睨の下に彼等を畏服せしめた。俺は腕に自信があり、革命の先陣に立つた體驗もあり、一夜作りの似非革命家ではない。敢て安心を乞ふ。

■俺は人に毆られたり、蹴られたりすることは、革命家の尊嚴を傷るものであると思ふ。蛆蟲の樣な奴が幾千人來るとも進め社の牙城には一指も染めしめず。昔平井權八が決鬪の跡だ。鈴ヶ森の城守は堅い。何者も犯すことが出來ない。敢て安心を乞ふ。(稻田)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

アナを坑にせよ

近頃、俺達の悪口を言ひ觸らして歩く奴があるさうだが、陰の悪口は男らしくない。悪口が言ひたかつたら俺の前に來て言へ。女の腐つた樣な奴だ。社會主義者にはそんなくだらないことを言ふ奴は恐らく一人もあるまい。多分アナの連中だらうと思ふが、俺達が貧乏の中から小使錢をやるさ、毎月うるさく來るから、しまひにやらない樣になつたものだ。その腹愈せのつもりだらう。人がうるさいから出すと直ぐにカフエーや女郎買に使つて了ふ奴らだ。彼等の口實は檄文だの秘密出版だのさ、如何にも運動でもしてるかの樣に見せかけて居るが、其の實、他人の作つたものを一二枚持つて歩くのに過ぎない。名前を列擧すれば三四十人は確かにある。其の中、同志間に通知して警戒するつもりだ。それが殆んどアナだ。アナは坑に入れて了はなければならぬ。(竹下)

六疊の間より

■御承知の通り本誌三號は發賣禁止、五號は記事注意、六號は又も發賣禁止を食ひました。之れからも無事で濟まない事は無論解り切つて居ます。

若しも『進め』が一時の流行や、氣紛れに由つて生れたものならば、嚴しいお上の壓迫や干渉から解散し消滅する事もあるだらうけれど、言ふまでもなく時勢の進運に由る吾々勞働階級の眞の自覺、止むに止まれぬ要求から自然に成りたつたものだから、壓迫や干渉が加はれば加はる程益々根が張り、基礎が固まるのであります。

■本社は事務の都合上本月の十六日左記の場所に引越しました。

東京市外大井町海邊二六一四

進め社

今度は以前の所より家も大きく閑靜で交通の便のよい所ですから、市内近郊の諸君はもとより地方の方も上京の都度、ドシ〱御來遊を願ひます。

■見本雜誌は出來るだけ配布する考だから入用の方はドシ〱申込下さい。購讀申込の際住所氏名は必ず明瞭に書いて下さい。特に御願ひします。

■毎度申すことでありますが、諸君が自身の雜誌を丈夫に育てる爲めに、是非實價の御拂込を願ひます。又責任を以て地方支局を引受け下さる人は、詳細御照會次第早速御返事を差し上げます。兎に角あらゆる方法を以て御後援の程切望します。(安達)

ある日の妄想

『一の社會組織は總ての生産力がその組織内に於いて餘地ある限り、その發達をなし遂げた後でなければ、決して顚覆はしない。』

かれはある日かう云ふ句を唯物史觀の一節だと云ふて示された。そしてそれがロシア革命に依よつて見事に破壞されたのだと云はれた。

その後のことであつた。彼は妄想に耽つた。

ロシアの貴族と純然たる資本家とが靜かに話し合つた。

『一寸待つて呉れ給へ、そう君の方で盛んに都市中心を叫んだのでは地主である僕達や、數百年の光榮ある傳統を衛るツアーは、身の置きどころがなくなるかられ』

『それでは貴方々は、私達に決して損のないやうな保證を與へて下さい。例へば私達が勞働者と利害の衝突のあつた場合には一臂の力を添へて下さらば、私は敢えて貴方に反對してまで何も中心を私達のところに持つて來なくともよろしいのですから』

かう云ふ會話の下で二人の妥協は成立した。二人は手を握り合つてニッコリと笑を交した。然し資本家は貴族の有して居る原料といふものを自分の機械に隷屬させ得ない爲に生産力は少しも大きくならなかつた。其處でその埋合せに極度まで勞力を搾取した。けれども人間の勞力には限りがあつた。勞力の提供者は突然に立ち上つた。資本家は彼らの利害からしつかりと貴族と握り合つた拳でたゝきつけた。然し無駄だつた。彼は今度その手を放して貴族の横ツラを撲つた。然しその瞬間に下から起き上つた勞力提供者の爲にヒツクリかへされた。

『彼は貴族と握手して一の社會組織を作つた。然し彼は其處では自由にその手腕を發揮して俺達を瞞かすことは出來なかつた。で彼はかゝる狀態の下ではその生産力を思ふ存分に發揮し得なく、我々の搾取に對する苦痛は日々に大きくなつた。つまり換言すれば、かゝる社會組織では、俺達が要求する社會的生産力を充分に作り出すことが出來なかつた。これを目して我々は資本主義の頂點といふのである。』と希望に滿ちた勞力提供者は後を顧みて快心の笑を浮べた。(松本齋)

編輯室より

◎梅雨に入り、雨、びしよ〱と降り續く。うすぎたなき古綿雲、空一面に掩ひはびこり、不快なる壓迫を感ず。梅雨は正しく日本の現狀を表象したるものならずんばあらず。

◎梅雨の期に、あたかも、七月號が發賣禁止の厄に遭ふ。むしやくしやする肝シヤクを押さへ、憤慨の次第に苦笑に推移し行く心的過程を靜かに思ふ。

◎我社、突如として、移轉す。新居は、大きな新しき二階建也。七月中旬、梅雨全く明け、二階なる編輯室に坐す。群青の海、即ち一眸の下に見渡さる。進め社の三角の赤旗は、七月盛夏の、光る大空にひろがへる。

◎暗雲一掃し、赤旗の影に『日露同盟提唱』の「進め」の編輯を終る。ペンを捨て、欄干にまたがり日本の暗雲一掃の日を思ふ。

◎近頃、餘暇に「東陲民權史」を讀む。彼の常州加波山の壯擧を詳記せるもの也。獨裁政治を布いて明治建設の事業などし〱断行したる薩長政府を明治革命の本流とせば、是は一の反動運動と見らる。確かに噴剛味は覷取し得るも、遂ひに反動也。飛躍せず逆行せず、徐ろに推移する歴史の流の前には、何程の力も示すべからず。小細工、小政策は、歴史の行程に對する明確の洞察に如かず。(岡陽之助)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

記憶を辿つて（三）

岡千代彦

一、片山君の日刊新聞

今から二十四五年前に片山潜君は各勞働團體後援の下に社會主義の日刊新聞を發行した。恰度其時分は日本の勞働運動が嫩葉を出して、鐵工組合を始め、日本鐵道組合、活版工組合と稍や氣勢を擧げたので『勞働世界』を改題して勞働新聞とし、日本橋本石町で發行した。其家屋は鐵工組合員諸君が醵金して購入した立派な家屋で、今日なれば十萬圓近くもするだらうと思ふ本石町の停留場近くで、土一升金一升の處だ。(お湯屋が向ふにあつて、其後下駄屋になつて居た)兎も角も、文撰も植字も、印刷も出來、編輯から事務も發送も出來るだけの間數であつたから、組合事務所の時代には、大勢が時々集會した。夫れが一勞働組合の所有であつたのを見れば、隨分基礎が鞏固であつた事と思はれる。今東京でも勞働組合は多いけれども、之れだけの基礎を以つて居るものは稀れであらう。發行の披露が呉服橋の桝屋と云ふ貸席であつた。數百人の來會者があつて、其中には當時の新派俳優で、山口定雄一座の女形兒島文雄が出席して居た。彼れは社會主義に共鳴して居て百圓を寄附したと云ふ事であつた。折詰に正宗と云ふ献立で頗ぶる盛會なものだつた。其時の記者としては片山君の外に西川光二郎君と小塚空谷君其他に一人位、夫れと二三の事務員であつた。日刊新聞を十人に足りない記者と事務員で發行しやうと云ふのは無謀と云へば云はれるが、其勇氣は感歎するを得ざるのである。いろ〱な事情の爲めに三月を出でずに廢刊する事になつたのは返す〱も惜しい事だつた。

二、其頃の活版工

西川光二郎君が僕の顏を見る毎に活版工の風の惡い事を難じた。夫れは日刊新聞の職工達が博賭はする怠惰る、夫れが爲めに印刷の時間は後れる。その上に惡い事をする（箒の柄の節を拔いて活字が詰込んであつた）ので手古摺つたと、實際其頃の活版工間にはチヨンナメと稱する一種の賭博が流行つて、親分乾分の風習が存在し、豚市とか隱亡とか綽名のあるものが幅を利して、朦朧をするとタカリに行ふと、辨當や煙草を仲間に奢つて貰ふ事を見榮のやうに思ふて居たものが多かつた。心ある同士間では、兵兒帶の下つて居るもの程、品性が下落して居ると話合つて居たのは適評であつた。其後こんな手合を自然に排斥するやうになり、遂には正進會や信友會のやうな勞働運動の第一線に立つやうな團體が出來るやうになつたは喜ばしいが、往事を想ふと慄然たる事が幾等もある。

三、馬城將軍の勞働運動

馬城大井憲太郎君が一度政界に失脚してから、浪花に勞働運動の旗幟を擧げ、週間勞働新聞を發行したけれども、之れ又た時利あらずして新聞を廢刊して本部を東京に移した。神田錦町紅梅館(旅館)内に事務所を設けて氣勢を擧げんとした。馬城將軍は一時星亭と覇を爭ひ名聲嘖々たるの士であつたが、彼れの勞働問題に對する意見は國家社會主義にも及ばぬ、極めて微温的のものであつて、普通選擧を主張し、それが通れば勞働者の天下になられると云ふ位な所であつた。一時は其名聲を聞いて馳參じたものもあつたけれども馬城は昨の如き駿毛でな最早駑馬のやうであつた。大阪事件をして驍名を轟かしめたる彼れは轗軻不遇の裏に一生を終へたのは惜しいことである。

四、神樣連の勞働運動

大井馬城將軍が大日本勞働協會本部の看板を神田紅梅館内に掲げると有象無象が集まつた。其中に宮崎虎之助君があつた。其時分には、未だ預言者でなく酒を飲んで、勢ひよく浪花節など語つて、後年のヨハネや、イザヤになるとは思はれなかつた。モー一人は、目下市ヶ谷の刑務所の前に救世軍の營舍を構へ、自由廢業の鬪士として有名である伊藤富士雄君であつた。君は其頃から救世軍の軍人であ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

つたが、軍隊所屬でなく或る鐵工場に通勤して居られた。君は何時も職工は藝者のやうなもので、御祝儀にありつけばよろしい。其生產その物に對して何等の責任はないと、熱心に勞働問題を鼓吹して居られたが、遂に救世軍の陣營に入つて、自由廢業と免囚保護の事業を負任して居られると云ふことである。

五、主義者初期の茶話會

社會主義＝とは何であるか、今から三十年前では、一部のハイカラな學者より外に殆んど知るものがなかつた。夫れが片山安倍氏等の主唱で、ポチリ〳〵と傾聽者や崇拜者が出來て、演說會に、講話に來集者が漸次殖えて來るやうなり、社會主義協會が生れて、月々茶話會を開くことになつた。片山氏のキングスレー館が重なる場所であつたけれども、時には三崎町の吉田屋、神田の松本、芝の玉翁亭などの貸席で催をした。會費は拾錢で片山安倍其他の先輩が先づ社會主義の概念や、歐米社會主義者の奮闘史などの講話があつて、夫れから一寸質問應答などもあつた後ちに、來會者が銘々に感想を語つたり、意見を述べたりした。其處にはお茶とか菓子とか出て居て、激論や感情の衝突などは殆んどなく、和氣靄々たるもので、時には餘興などがあり、松崎源吉君の鼻琵琶と云ふ隱し藝があつたり、千代坊の駄酒落混りの落語やら、西川君は佐渡の兄ちやんと云ふ、たつた一つよりない歌を唄ふやら夫れがいろ〳〵と轉化して、松崎君が一心亭辰雄について浪花節の稽古をする。原霞外、岩本無縫君などが伊藤痴遊君に師事して新派の講釋の始業をする。後ちには本物となつて、二人は寄席へ出るやうになつた。それから添田啞蟬坊君の演歌が益々上達して喝采を博するやうになり、齊藤兼次郎君も負けずと尺八を吹くやうになり、坪井南萍君の劍舞、堀尾友治君の吟聲、櫻井松十郎君が飴屋さんの歌を唄つたり、果ては太鼓が出來て合唱をする。其時には革命の歌だとか赤旗を衛つて、などの歌はなかつた。「富の鎖り」と云ふのを繰返した。或時には木下尚江君が高座に昇つて落語をやつた事もあつた。又た菊地茂君は金色夜叉を講談的にやつた事もあつた。兎に角集會は何時も無事平穩で、會合毎に會員が增加して行く。今では實に思ひ出でが深いのである。

六、我々の芝居ごッこ

浪花節語りや、講談家が出た。續いて社會劇をやらふと云ふ連中が出て來た。其時は木下尚江君作の「火の柱」が燎原を燒き盡すやうな勢ひであつたので、夫れを脚本としてやつて見やうと云ふのは、早稻田の連中を中心とした學生連で、大亦楠太郎君を始め、菊地茂君（現萬朝報社在）が篠田長次を九段坂上の一旗亭の二階でやつた事を覺えて居る。そうして同じ火の柱を其後平民社の主催で瀧の川の園遊會でやると云ふ事は前々號に一寸書いて置いたから、それは省略するけれども、加治病院長の誕生日に同院內で我々の連中が芝居をした事があつた。其藝題は「噫無情」で、ジャンバルジャンが出獄して空腹を抱え、エミル僧正に救はれて汝に歸る場と、馬士がジャンと間違はれ裁判に附せられんとする場面とであつた。其劇は殆んど茶劇に等しかつたけれども、兎に角無事に演了したのは今では古い同志の一つの語り草となつて居る

七、堺、山川兩君の活人畫

何時の正月であつたか、新年會が神田三崎町の吉田屋に催された。餘興の番組は數々あつた中に活人畫があつた。堺夫婦が何かをやつたと思ふ。そうして堺君が軍人か、警部か、なんでも、そんな風采をした人をやつた。途中から行つて見たゆゑ判明せないが、山川均君が當年の勇を發つて活人畫一場を出した。夫れは同士の句に

元日や社頭の松に首くゝり

と云ふに因んで、大鳥居の背景に一本の松の大枝があつて、それに恰好よくぶらさがつた。其山川君は首尾克く健在であるが、其時に福引などの世話を燒いて居た森近運平君は、其後不運平で市ケ谷でとう〳〵ぶらさがつた。

次號には◎初期の演說會◎ケヤハーデーと大隈侯◎内山愚童の爆烈彈の話◎堺利彥君等の無錢飲食◎落語のやうな法廷◎大杉榮君の初會話◎野澤重吉君女郎に說法◎國家社會黨の燒餅

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ス丶メ・リーフレット(3)

無產靑年の地位

沖　辰　男

―靑年と敎育

無產靑年は生まれるとから、ブルジョアジーの敎育に毒される。そして物心もつかぬ時分から義務敎育といふ名によつて、小學校に投げ込まれて、ここで基本的にブルジョア的觀念を叩き込まれる。六歲から十二三歲の頃は、人間の頭腦の一番軟かい時である。斯う言ふ時に敎へ込まれたブルジョア的觀念が、其の後も永く無產靑年の頭のうちに喰ひ入つて、容易に離れぬのも無理はない。

無產靑年は、大概小學校以上の敎育を受けることが出來ぬ。そしてまだ〳〵學問がしたいと思ひながらも、生活の必要のために厭應なしに工場の中に追ひ込まれる。中には少し仕合はせな者があつて、なほ高等な敎育に進むことが出來るとする。けれども此處で彼れ等の敎へられることも、前と全く同じやうなことである。ただそれを六ケ敷く言ひ現はし、一層系統的にしてブルジョア觀念を注ぎ込むだけである。

斯うして、生まれるとから唯だブルジョア的敎育をのみ受けブルジョア社會の環境の中に住み、舊來の傳統的な生活條件のうちに生きてゐる無產靑年が次第に斯ういふ思想に固まらうとするのは當り前である。義務敎育で敎へられるところは、現在の社會組織が永久で動かぬこと、從つて無產靑年が決して斯かる社會組織に對して、疑ひの心を起してはならぬことである。

けれども吾々無產靑年は、斯ういふ敎へを受け入れる前に、一應考へて見なければならぬことがある。實際小學校の敎科書で敎へられたやうに、社會組織といふものは無始無終のものであつて、少しも動かぬものであらうか。實際はさうではない。早い話しが、一寸吾々の祖母さんや、その祖母さん時代のことを考へて見るがいゝ。祖母さんや、ひい祖母さんは、機の前に坐つて、可愛いゝ孫や、ひい孫のために、丹精に晴れ着のための木綿を織つて呉れてゐたものである。そして此の時代には、一枚の着物を作るのにも、斯うするより外に作りやうがなかつたのであつた。けれども今日では一體どうだらう。お婆さんの一臺の機は大きな紡織機械に變つた。そして一軒一軒で機を織つてゐた代りに、大きな工場が出來た。何萬といふ男工女工を使つて、織物を作ることになつた。是れは慥かに驚くべき變化であつて、德川時代のお婆さん達を、地中からつれて來て之れを觀せたならば、びつくりするに相違ない。

斯ういふ物を作る技術の變化―生產技術の革命―につれて、社會一般の思想や、觀念はすつかりと變つた。德川時代のやうな、主從的な觀念は、今では全くなくなつて、現金主義の世の中になつた。一切の人の行動は、金錢的利害の打算の上に築かれるやうになつた。是れで見ても、社會組織が一定して動かぬものでなく、生產の技術の變化と共に、次第々々に動いて行くものであることは明かである。そしてこれに伴つて社會の人々の考へ方なり、思想なりが變つて來るのである。

それにも拘らず、ブルジョアジーは社會組織は動かものであるといふ。そしてまだ頭の固まらぬ無產少年なり、無產靑年なりに、斯やうな觀念を敎へ込む。そして現在の社會組織を支配する思想―ブルジョアジーの思想―を、繰り返し〳〵敎科書により、講演により、訓示によつて無產靑年に持たせやうとする。斯うして現在の社會組織を有難がらせ、少しでも之れに疑ひを起したり、不屆きにもそれに反抗したりなどすることのな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いやうにすることに成功した。

然しながら無産青年の生活狀態は、あまりに苦しい。無産青年は斯うした苦しみからでも、社會組織に疑ひを起すやうになるかも知れぬ。そこで、ブルジヨアジーは斯う言ふ敎育を始めた。『稼ぐに追ひ付く貧乏はない』ただ働きさへすればよい。苦しいのは働かないからだ。不平を言はずに働け。勞働は神聖である。職業に貴賤はない。その日〳〵を安穩に生きて行けるのは、ただ吾々のお陰だ。ただ働きさへすればいゝ。……此の敎訓は、彼れ等の謂ゆる社會組織不變の哲學と結びついて、無智な無産青年をまた盲目にした。けれども考へて見るがいゝ。現在の社會では働く者ほどが苦しい。そして働かないものは、坐つてゐながら、雪の中を轉がる雪だるまのやうに肥えてゆく。彼れ等の敎へるやうに、いくら働いても、無産青年は樂にはならぬ。これはまた何故だらう。

現在の社會は、ブルジヨアジーとプロレタリアといふ二つの階級に分かれてゐる。そしてブルジヨアジー——有産階級——は、ただプロレタリア——無産階級——を搾取することによつて、生きてゆく。ブルジヨアジーが無産階級をだまして、彼れ等をおとなしく手なづけておいて、其の搾取を續けてゆけばゆく程、彼れ等の腹は大きくなる。此の搾取のために、最も苦しまなければならぬものは、無産青年である。

斯やうに無産青年は、ブルジヨア敎育の毒牙によつて、幼少から全くブルジヨアの社會を肯定し、此の一切の矛盾に盲目であり、如何なる苦しみにも、不平なく堪へて行かねばならぬやうに敎育されてゐる。無産青年の運動は、斯やうな事實を出發點として始まるのである。

2 靑年の敎育事業

ブルジヨアジーが、永久無終だと敎へた現在の社會も、生産技術の進歩とともに、ずん〳〵と進んでゆく。そして現在の社會組織——資本主義——も色々の矛盾を生んできた。

斯ういふ社會的矛盾を反映して、現在の一般無産青年の大衆は、多かれ少かれ、たとへ漠然とながらも、精神的に煩悶を感じて居らぬものはない。そして暗がりの中に何ものをか求めてこの解決を得やうとしてゐる。そして其のうちで、幾分か進んだものは、社會主義的の思想に到達し、或るものは文學のうちに其の解決を求めやうとして焦り、或るものはデカタニズムに趨り、或るものは藝術にかぢりつき、或るものは何物にも觸れることが出來ずして自殺する。

無産青年の運動は、斯ういふ一般の青年大衆に對して、光りを與へてやらなければならぬ。無産青年の持ち得る唯一つの光りは社會主義である。ただ社會主義のみが無産青年を、是れ等の煩悶から解決する。何故かと言へば、無産青年の苦惱は、社會的矛盾の結果であるから、社會が改造されぬ限り解くことの出來ぬものだからである。

無産青年は、一般の無産階級の一部分である。一般の無産階級は、社會主義の理論の敎へるところによつてのみ、眞實にブルジヨアジーの支配から解放される。だから無産青年が、之れで光りを得るのも當り前の話しである。ブルジヨアジーの敎育が、ブルジヨアジーの利益を代表するのに反して、無産階級の科學——社會主義——は、無産階級の利益を代表する。社會主義は、無産階級が、ブルジヨアジーと鬪ふところの、一つの武器である。そこでブルジヨアジーの敎育から、無産青年を解放するには、無産青年に無産階級的敎育——社會主義の敎育——をしなければならぬことになる。

然しながら、斯かる敎育をすることは、なか〳〵容易な事業ではない。ブルジヨアジーは一切の力を以つて、之れに壓迫を加へる。それにまた、ブルジヨアジーによつて、柔軟な無産青年の頭の中に叩き込まれた敎育の力も、なか〳〵根强い。それだからと言つて、無産青年に對する敎育事業を斷念するのは、敵の前に降伏するのと同じである。

青年の頭腦は、一般に成年乃至は老年者に比して鋭敏であるに隨つて社會の矛盾や、不合理といふことには、感附き易い性質を持つてゐる。それにも拘らず

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産青年が自覺しなかつたのはブルジョアジー敎育の毒が強く全身に廻つてゐるためである。

無産青年の運動は、此の毒を無産青年の體の中から取り除くための運動である。此の毒をさへ取り除けば、頭腦の鋭敏な無産青年は、すぐに無産青年としての自覺を起す。此の自覺こそ、階級的自覺であつて、無産青年運動の根本動力となるものである。

斯やうに無産青年運動は、頭腦のまだ全く固まり切らない無産青年を對象として、之れに無産青年としての自覺を引き起すことであるが、一旦無産青年が、自分の立場を自覺した上は更に進んだ敎育をする必要がある。それはブルジョア敎育の代りに、無産階級としての敎育をやることである。

無産階級としての敎育、從つて無産青年としての敎育は、前にも言つた通り、どこまでも社會主義の敎育である。そして此の敎育には、無産青年が第一に社會は動くものであるといふ考へ——唯物史觀の觀念——を持つやうにならねばならぬ。これでこそ、初めてブルジョアジーが敎へた社會觀念を、根本的に叩き破ることが出來るのである。

3 靑年と政治

無産青年の運動は、斯やうに眠つてゐる仲間をゆり起して、それに無産階級としての自覺を持たせることである。けれども此の敎育運動に當つて、無産青年の政治敎育にも亦た、一應注意する必要がある。

ブルジョアジーは、青年は政治に關係する必要はないと敎へる。之れは無産青年が、學校の敎科書で習つた通りであつて、青年はただブルジョアジーの政治を有難がつてゐさへすればいゝといふのである。だから無産青年には選擧權さへ與へられてゐない。無産青年は政治に關與する權利を絶對に奪はれてゐる。

けれども無産青年の關與なくして行はれるところの政治は、無産青年の直接に利害關係の重大なことを決定する。そして其の決定によつて、無産青年はまた〳〵猶ほ一層の搾取に堪へねばならぬことが多い。今でこそ軍備縮小などといふが、今まで軍備の盛んに擴張せられてゐた時代はどうだつたらう。陸海軍が尨大な豫算を議會に提出する。ブルジョアの代議士は、型の如くに之れに協賛する。無産青年は之れを少しも知らないでゐる。それにも拘らず、軍事豫算が議會を通過した以上、誰れに遠慮なく師團は增設された。そして何も知らない無産青年は貧窮のうちに在る父母を郷里に殘して二年乃至三年の兵役に服しなければならぬ。無産青年は斯うして何等のものを得ずして一切のものを與へなければならないのである。

斯ういふことは一體正當なことであらうか。青年が政治に關係してはならぬといふのは、ブルジョアの觀念である。ブルジョアの政治に對しては、無産青年は、無産青年の立場から抗議する必要がある。無産青年は、政治的に目醒めなければならぬ

從來の議會はブルジョアジーのものである。そして年々の議會は、吾々の正視することの出來ぬやうな醜態を演ずる。そのために純な心を有する青年の心は、議會から離れてゆく。青年の心が議會から離れることによつて、一般の無産青年が、政治といふものに極めて冷淡になつてゆく。

然しながら、ブルジョアの政治といふものは、必ずしも議會のみで行はれるものではない。議會を無視することによつて、ブルジョアの政治を否定しやうといふのは、極めて消極的な態度であつて、無産青年の態度ではない。無産青年は更に一歩を踏み出して、積極的の對抗に移らなければならぬ。

それがためには、無産青年は無産青年としての立場から、ブルジョアの政治を解剖し、批判し、現在の政治がただブルジョアジーのものであつて、無産階級のものでないことを、事實によつて學ばなければならぬ。そうして事實によつて、無産青年の大衆が、政治的に醒めたときに、無産青年運動の力が一段加はるのである。

けれども無産青年は、無産階級政治運動の中心となる必要はない。無産階級の運動は、それ〳〵の部門で、各々特有の役割をもつてゐる。そこで無産階級

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

としての政治運動は、成年無産階級一般の役割に屬すべきものであるが、無産青年は、ただ此の無産階級的政治運動の一大支持力として、無産青年一般に廣く政治敎育を行ふ義務がある。

4　資本主義と青年

無産青年が、無産青年として起たなければならないのは、ただこればかりではない。工場や職場に於ける勞働青年の地位を考へを見ても解かる。是れ等の勞働青年は、朝は暗いうちから夜は星の出るまで、せつせと働かなければならぬ。十時間から十二時間も働かされることは珍らしいことではない。それにも拘らず賃銀は成年勞働者の半分にも滿たぬことがある。これで勞働青年が起たずにゐられやうか。

彼れ等はこれ程長い勞働を強ひられて、夜は疲勞のあまり本を讀むことも出來ぬ。社會の青年が、青年としての敎育を受けるのも、青年の權利である。それにも拘らず、敎育はおろか一切のものを與へ、ただ〳〵苦しい搾取の生活の下に、貴い青年の血と汗をブルジョアジーに捧げなければならないのは何といふことであらう。

そればかりではない。彼れ等は適齢に達すれば、厭應なしに兵役といふ勤勞に服しなければならぬ。そしてこゝでも亦た、同樣の苦しい勞働をする。

農村の無産青年も、苦しい搾取の下に生活を續けて來てゐるのは、都會の勞働青年と同じである。彼れ等はその上に嚴重な封建的な戸主制度に縛られて、自由に行動することさへ出來ぬ。それのみならず、保守的な成年農民の保守思想に壓せられて、無産青年としての思想に目醒めることをさへ妨害されてゐる。

そこで一切の反動勢力と、保守主義が農村に巣ふやうになる。農村の無産青年は、斯かる勢力のために、縱横に引つばり廻はされやうとしてゐる。また多くの農村の青年團の指導は、小學校の敎員や、視學や、郡長などといふやうな官僚や、ブルジョアジーの手先きによつて爲されてゐる。折角無産青年が、無産青年としての意識——階級意識——に醒めやうとしても、是れ等の人々の指導の下に在る限り、是れが無産青年の一般の意識となることはできぬ。

在郷軍人團は農村が根據である。そしてここでは、成年や青年を混せて、國民を軍國主義の奴隷としやうとしてゐる。任郷軍人團といふものは、義務的の兵役のすんだ後に、國民をいつまでも軍國主義の精神に引きつけておくための組織である。そして偏狹な國民主義を無産青年の頭の中に叩き込んで、無産階級の解放運動を妨害する。

農村の無産階級は、都會の勞働階級のやうに、近代的な資本主義の本質的の産物でないだけに、目醒め方が前者に比して遲い。そこで農村には前に言つたやうな危險が襲來するのである。之れを防いで、無産階級の勝利のために闘はせるものは、たゞ農村では小作青年ばかりである。

5　未來は青年のもの

無産青年は將來を持つてゐる。無産階級の運動は、近く此の階級的に自覺した無産青年によつて行はれなければならぬ。だから將來の無産階級運動の勢力は一に現在の無産青年の自覺に懸かつてゐる譯である。

資本主義の壓迫が、精神的にも、肉體的にも、一番ひどくのしかかつてゐるのは無産青年であることは前にも言つた通りである。そして無産青年は、此の壓迫に反抗して起ちかけた。無産青年運動は、斯やうな無産青年としての地位に自覺した青年によつて凄じい力になつてきた。

信州には自由青年聯盟ができ、秋田には無産青年の自由思想研究會ができ、關東には關東青年水平社ができ、無産青年の團體は雨後の筍のやうな勢ひで、生まれてゆく。そしてもう都會でも、農村でも、工場でも、鐵道でも、苟くも無産青年のある所に、此聲のない所はない。

未來は青年のものである。無産階級運動が大きくなつて、無産階級がほんとうに解放されるかどうかは、ただ無産青年の自覺次第である。無産青年はもう醒めねばならぬ。そして、都會と農村の無産青年が、手を取つて無産青年の運動に這入つたときに、始めてほんとうの無産青年運動が生まれる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

エビス
サッポロ(黒)
ビール
清涼飲料
リボン印
シトロン
ラズベリー
タンサン
大日本麥酒株式會社

□社會主義
□社會問題
□勞働問題
□婦人問題
圖書 雜誌
販賣
神戸市湊川町二丁目十六番地ノ百二十三號
上西書店
上西一郎

名譽大賞牌受領
於平和記念博覽會

◎人にたよるな保險にたよれ

契約高　四億二千萬圓
積立金　八千一百餘萬圓

明治廿二年創立

日本生命保險株式會社

社長　山口吉郎兵衛
專務取締役　弘世助太郎

權威　日本一の大會社
特長　保險料極て低廉

◎保險は子のため家のため

本社　大阪市東區今橋四丁目

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

權威ある社會經濟の名著

佐野學著 ◇マルクス全集第十册◇
經濟學批判
—定價六圓九十錢・送料十八錢—

河野密譯 ◇マルクス全集第十一册◇
神聖家族
—定價六圓九十錢・送料十八錢—

佐野學譯
露西亞經濟史研究
—定價六圓八十錢・送料十八錢—

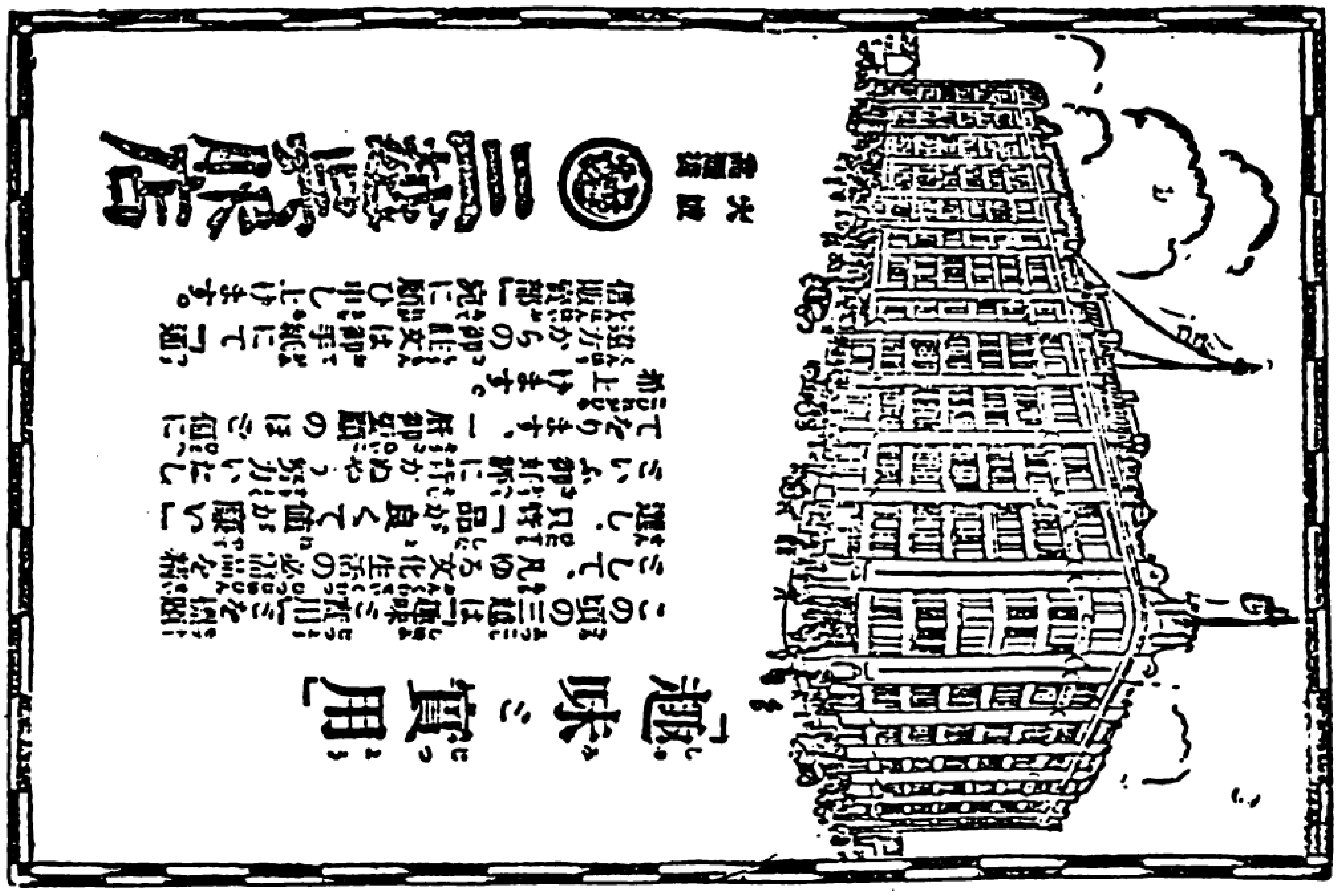
赤松克麿著
社會革命史論
—定價一圓九十錢・送料十二錢—

ウンタアマン著・山川均譯
マルクス經濟學
—定價二圓八十錢・送料十二錢—

ゴルテル著 堺利彦譯
唯物史觀解說
—定價二圓二十錢・送料十二錢—

堺利彦・山川均共著
マルクス傳 附エンゲルス傳
—定價二圓八十錢・送料十二錢—

東京神田今川小路 振替(東京三三六一八)
大阪市三休橋南 振替(大阪二七一五五)
大鐙閣發行



大正十二年八月一日發行
大正十二年七月三十日第三種郵便物認可 ● 毎月一回一日發行 ● 定價 一部十錢 一年一圓 ● 發行所 東京府下荏原郡大井町鮫ヶ濱二四七八(振替東京一二八七四) 日本勞働協會
第一年第[illegible]號 ● 廣告料 一行一圓 一頁三百圓 ● 發行人 [illegible]田莊二 編輯人 北[illegible] 印刷人 高野[illegible]太郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN